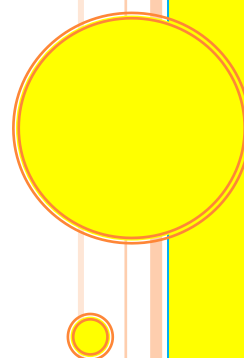


平成30年度

南部町教育委員会の事務の 点検及び評価報告書

《 平成29年度実績 》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育に関する事務が南部町教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価し報告するものです。



目 次

○まえがき	P. 2
○点検・評価アドバイザーによる意見	P. 3～6
○点検及び評価の概要	P. 7
○事務事業の点検及び評価とは	P. 8
○南部町教育方針	P. 9～13
1. 学校教育指導の方針と重点	P. 10～12
2. 社会教育指導の方針と重点	P. 12
3. 文化財保護行政の方針と重点	P. 13
4. 学校給食重点目標	P. 13
○教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧表・・・	P. 14～16
○事業毎個別評価の観点	P. 17
○事業毎個別評価表	P. 18～55
○教育委員会活動の状況	P. 56～59
1. 教育委員会委員構成	P. 56
2. 教育委員会の活動概要	P. 56～58
3. 教育委員会会議	P. 59～60
○教育委員会事務局の組織の状況	P. 61～65
1. 教育委員会機構図	P. 61
2. 教育委員会事務分掌	P. 62～64
3. 教育関係予算の状況(決算)	P. 65
○町立小・中学校の「特色ある学校経営事業」の目的と実績・・・	P. 66～77

平成30年度

南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書

《 平成29年度実績 》

◆ まえがき

南部町教育委員会では、「豊かで潤いのある生涯学習社会の形成に向けて、心身ともに健康で豊かな情操と優れた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努め、学習環境の整備に取り組んでいます。

こうした取り組みは、これまでも広報誌などを通じて町民の皆様にお知らせしてきたところですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に報告するとともに、町ホームページに掲載し公表をしております。

このため、南部町教育委員会では、今後の効率的で効果的な教育行政を推進し、町民の皆様へ説明責任を果たすことを目的に、外部の学識経験者2名の方々にアドバイザーになっていただき、意見を伺いながら、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、このたび、その結果を報告書としてまとめました。

南部町教育委員会では、今後も「個を生かし生きる力と学ぶ力や夢をはぐくむ学校教育の推進」「生きがいのある人生と、豊かで住み良い地域社会を実現する社会教育の推進」「未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用」を目指し、地域の伝統と特性を生かした教育行政の推進に努めて参りますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月

南部町教育委員会

平成29年度の教育委員会の事務事業について、5回にわたり各担当者とのヒアリングを実施し点検し、評価を頂きました。

総評として、両アドバイザーから、つぎの様なご意見を頂きました。

点検・評価アドバイザーによる意見（平成29年度分）

南部町教育委員会事務の点検・評価対象の56事業は、当町の児童生徒及び町民の将来を担うものであり、21世紀の南部町を支える基盤となるものであります。南部町教育方針の「教育は人づくり、明日を担う人を育て一人一人の個性を活かすまちづくり」という基本理念や、教育目標の1つであります「豊かな心と広い視野を持ち、誇りと愛着を持って郷土の発展に貢献することのできる品性豊かな町民の育成」を改めて想起していただきたいと思います。

以下、担当部署ごとに所見を述べさせていただきます。

1. 学校教育について

- (1)「学校の芸術文化活動事業」について、昨年度は、無形文化遺産である歌舞伎や能楽の公演を、中学校1校で実施されたようですが、普段めったに体験することのできない事業でありますので、可能であれば町内中学校4校合同での実施を望みます。
- (2)「奨学金貸付事業」について、今後も貸付事業を継続・実施していくものと思いますが、返還金の滞納者への働きかけを継続し、滞納額の減少にさらに努力していただきたいと思います。南部町教育方針に「品性豊かな町民の育成」がはっきりと盛り込まれています。
- (3)「中学生海外派遣事業」について、学校運営上必要な一切の業務をつかさどる校長が団長として参加し、海外派遣の状況について自ら体験することも大切ではないかと考えます。その際、4校校長がローテーションで年度毎に引率します。
- (4)「教職員研修事業」について、教職員の新採用者に対してのみ実施されたようですが、南部町に初めて赴任する校長・教頭をも対象に含めたらどうでしょうか。管理職にこそ当町の歴史や文化等の重要性を理解していただき、児童生徒の指導に役立たせてほしいと思うからです。時期的には、多忙な年度当初より夏季休業中がよいかと思います。

2. 社会教育について

- (1)「南部七唄七踊り実行委員会補助金事業」について、南部七唄小中高生の部の出場者数が減少傾向にあるようです。南部七唄七踊りが町の無形民俗文化財に指定されていることもあり、町郷土芸能保存会と連携を密にし、出場者数の確保とともに後継者の育成にも尽力していただければありがたいと思います。

(2)「多様な学習機会の拡充」及び「多様な生涯スポーツの振興」については、参加者のニーズやアンケート調査、変化する社会情勢の中での必要性の有無を勘案しながら、臨機応変に事業を展開していただきたいと考えます。

(3)その中において、「南部ふるさと塾」は、歴史講座の参加者数としては全国的にも有数の規模であり、着実にその成果を維持し続けており、そのことがまた南部町を県内外にPRすることにもつながっていると感じています。

3. 文化財保護行政について

(1)「文化財の保護及び保存」については、法光寺承陽塔が国登録有形文化財となり、また、片岸、玉掛、大向のえんぶり組が町指定無形民俗文化財に指定され、さらに、史跡聖寿寺跡案内所のオープンにより拝観者が大幅に増加していることなどから、文化財の保護・保存事業が適切に行われていることが伺えます。

(2)「文化財の整備及び活用」の史跡聖寿寺跡公園化については、文化庁の指導に基づき、2018～2019年度は発掘に専念し、2020年度に整備基本設計を策定し、2021年度から整備を再開する予定ということで、町を代表する史跡公園となるよう期待するものです。

4. 学校給食について

(1)知育・徳育・体育と並び、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけさせる上で、学校給食の果たす役割(食育)は、きわめて重要であると考えます。学校給食衛生管理基準及び大量調理マニュアルを遵守した調理や、学校給食摂取基準に基づいた献立を作成し、栄養バランスの取れた食事内容の充実や減塩を図るなど、給食の供給に務めておられる関係者の皆様に感謝を申し上げます。今後とも、食材の安全性や食のアレルギーなどに十分配慮し、より安全・安心で且つおいしい給食の供給に精進していただければと思います。

結びになりますが、平成29年度分の事業が多くの関係者の並々ならぬ努力により実践されていること、そして、限られた予算の中で効果的に展開されていることについて敬意を表したいと思います。

平成30年11月6日

南部町教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー
中 村 正

点検・評価アドバイザーによる意見（平成 29 年度分）

教育委員会の学校教育・社会教育の事務分掌からなる事業は、多岐にわたり行われています。小中学校の児童生徒の「資質向上」「心の豊かさを高める」ための事業、歴史、文化と伝統芸能を次世代へ継承させる事業、住民の学習とスポーツにより生きがいと健康を目的とする事業などによりそれぞれの効果が期待されます。

その事業を担う職員の努力には敬服いたします。今後とも、学校教育、社会教育がさらなる向上形成がなされますよう、ご尽力を願う者です。

次の項目について、意見を申し述べます。

1．学校教育指導の方針

スクールサポーターについて、学校担任教諭を支援する形となっており教諭には助力になっている。今後とも人材確保に努め、児童生徒の生活・学習の支援相談活動を進めてください。

教育支援委員会事業では、各学校において保護者等への就学支援、相談業務が円滑に行なわれているようです。さらなる調査・検査の充実を図り、保護者の信頼を高めていくのが重要と思います。

学校の芸術文化活動事業では、南部中学校で要望した巡回事業の「歌舞伎・能楽」が文化庁から採択され、南部町民体育館で公演された。南部中学校の生徒たちには貴重な経験だったと思います。色々な体験をすることで、心の豊かさを持つことが出来ることから事業の継続を願います。

学校施設管理において、築 25 年以上を経過した学校施設 16 校のうち 8 校があるという。児童生徒の安全・健全な学校生活環境を保つために、計画的に順次改修を進めてください。

奨学金貸付事業は、経済上の理由で高等学校以上の修学に付けない有能な人材に資金を貸し付ける事業で有効ですが、資金の滞納が減らない状況にあります。教育委員会におかれましては、滞納額を減らす努力をお願いいたします。

2．社会教育指導の方針（公民館関係）

各種講座により、児童生徒・一般町民の芸術文化の継承、趣味の拡充、参加した方々の交流が生かされ生きる力を見出しているようです。

「まべち笑楽校」では60歳以上の生徒が 11 科目を学習し、「他の人を知り得た」「楽しかった」と好評のようです。

「南部ふるさと塾」は、新規参加者が増えるなど人気を博した。今後とも期待する事業です。

「青年教室」においては、青年層が少なく、仕事の都合上でも青年の集まりが望めないことなどで拍車がかかり、活発な活動が見受けられないという。事業の取り組みではなく、青年の自発的な活動を望みます。

3．文化財保護行政の方針

史跡聖寿寺館跡の発掘調査により、南部町は全国的に知られるようになり、南部藩の歴史に関心を持つ人が多くなってきています。その現われとして、「ふるさと塾」「南部学研究会」が開催されるごとに参加者が増えています。南部町の歴史を全国的に情報発信することが必要となり、情報発信の拠点の管理・運営の確立を望みます。

また、伝統芸能を次世代へ継承する団体「郷土芸能保存会」の努力により、後継者が育ちつつあるようです。保存会への助成の継続を希望します。

4．社会教育指導の方針（体育館関係）

「町民運動会」「町民歩け歩け運動大会」「総合優勝制スポーツ大会」においては、町民の健康促進が高められ、また町内相互の親睦が深められています。大会の種目や散策コースなどの決定については、町民の意見を取り入れるなど町民に関心を持たせた事業を行っています。今後も継続を望みます。

5．社会教育指導の方針（B & G 海洋センター関係）

児童生徒の水に親しみ、水に対する自助、水泳力の向上、また水の生物の研究により自然環境保護の意識を高めるなど、多種にわたり事業を行っている。

介護サービスを受けていない高齢者を対象にした「転倒・寝たきり予防」は、町内3ヶ所で開催されており、それぞれの地域から参加しやすい事業になっています。参加者が自身の体の状態を知り、健康を保つためにも続けて欲しい事業です。

駅伝競走など走る競技大会においては、着実に事業の成果が現われているようです。県民駅伝では町の援助もあり、選手たちの力が付いてきて毎年上位入賞しています。町内駅伝競走も小学校の参加が多くなってきており、大会が活発化してきています。

岩手県山田町の小学生とのマリンスポーツ交流については、山田町は東日本大震災の津波被害からの復興中であり、南部町の小学生との交流は両町ともに勇気づけられると思われます。心のふれあいも大切と考えます。参加者が少ないようですが今後とも続けていくことを希望します。

6．学校給食の重点

安全・安全で衛生、栄養バランスがとれた学校給食を提供するため日々工夫と努力を重ねており、また調理従事者の徹底した衛生管理体制を厳しく行っています。

今後も、地元食材を使用するなど食材に工夫しながら、安心、安全でおいしい給食を提供していくことを願います。

教育委員会の職員の皆様、切磋琢磨に事業の遂行をしていることに敬意を表します。

各種事業により、児童生徒、また一般町民の心のふれあう、健康で生きがいのある社会づくり、文化と伝統芸能の継承にさらなるご努力をお願いします。

平成30年11月6日

南部町教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー
工 藤 満

点検及び評価の概要

1 経 緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成19年法律第97号)により、平成20年4月1日から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出、公表することとされました。

2 点検・評価の対象

南部町教育方針にある教育施策の重点に即して行われた事業

3 点検・評価の方法〈内部評価〉

(1) 事業担当部署による点検及び評価

- ・ 各事業担当部署が実施状況をまとめて評価

(2) 教育委員会による点検及び評価

- ・ 各事業担当部署が評価したものを、事業の妥当性について評価

4 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験者等を「点検・評価アドバイザー」として委嘱し、点検・評価の実施方法や内容について意見をいただいております。

5 点検・評価アドバイザー

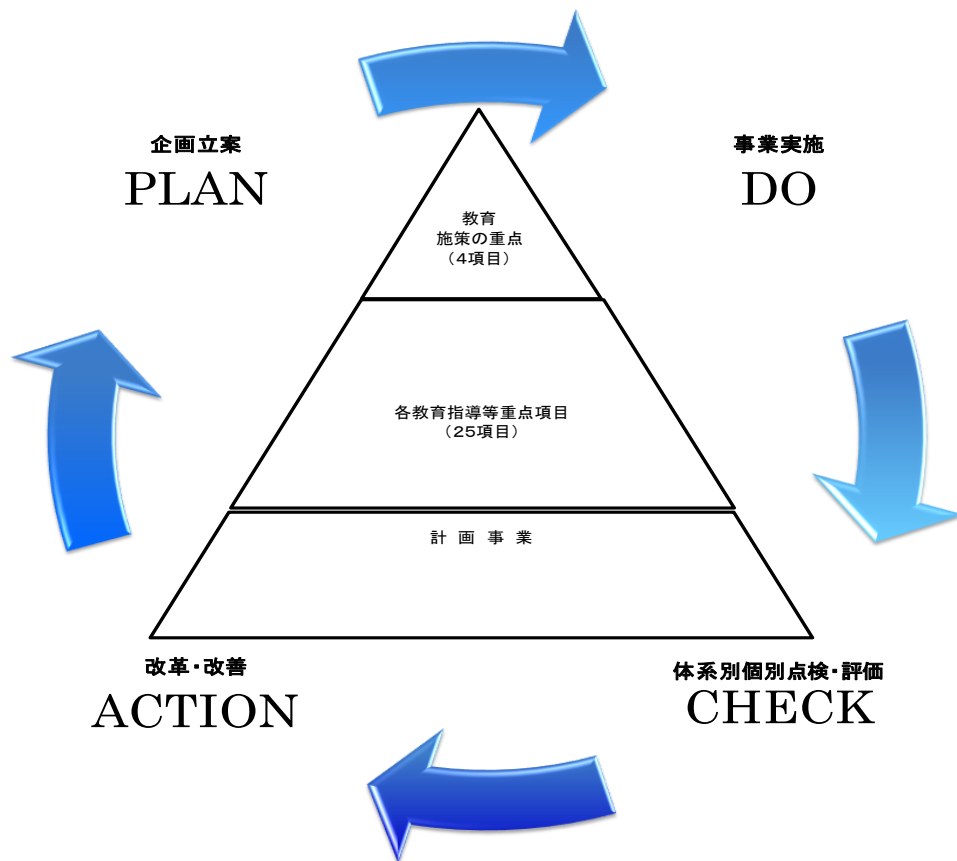
氏 名	団 体 ・ 役 歴
中 村 正 氏	元南部町立剣吉小学校長
工 藤 満 氏	元南部町教育委員会・名川B&G海洋センター所長

(1) 点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・ 第1回会議 平成30年10月12日開催
- ・ 第2回会議 平成30年10月16日開催
- ・ 第3回会議 平成30年10月26日開催
- ・ 第4回会議 平成30年10月30日開催
- ・ 第5回会議 平成30年11月 6日開催

事務事業の点検及び評価とは

事務事業の評価は、教育委員会が行っている事業について、点検と評価を行い、必要に応じて事業の取り組み方法等を見直して、今後の仕事の取組みにいかしていくものです。



事務事業の企画立案(PPLAN)、事業実施(DO)、点検・評価(CHECK)、改革・改善(ACTION)を継続して行うことで、より効果的で質の高い事務事業の実現を図っていきます。

南部町教育方針

◇ 基本理念

教育は人づくり、明日を担う人を育て一人一人の個性を活かすまちづくり

◇ 基本方針

南部町教育委員会は、青森県教育委員会及び三八教育事務所、関係機関、諸団体との連携を図り、豊かで潤いのある生涯学習社会の形成に向けて、「心身ともに健康で豊かな情操とすぐれた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努める。

◇ 教育目標

1. 町民の連携意識を高めながら、豊かな心と広い視野を持ち、誇りと愛着を持って郷土の発展に貢献することのできる品性豊かな町民の育成に努める。
2. 社会の変化に対応しながら、自分の目標を持ち、豊かな情操と創造力・実践力を磨きながら生涯学び続け、積極的に社会参加のできる町民の育成に努める。
3. スポーツに親しみながら、自分の体力と健康に関心を持ち、自主的に健康で安全な生活を営むことのできる町民の育成に努める。

◇ 教育施策の重点

1. 学校教育においては、主体的な学習態度を育て、基礎的・基本的な知識や技能を習得させ思考力、判断力、表現力などを育み、夢や志の実現に向けた教育を推進する。
また、町内小中学校へは「特色ある学校づくり」のために町独自の支援を継続する。
2. 社会教育においては、学校と地域の協働による教育活動と家庭教育の充実に努める。また、文化活動においては、芸術文化活動の奨励や育成を図るとともに伝統文化の継承育成や未来に伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。
3. 社会体育においては、スポーツ活動の振興やニュースポーツの普及と実践化を図るとともに、日常生活での体力づくりを推進する。

【学校教育指導の方針と重点】

1. 方 針

郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く幼児児童生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意工夫をこらし、夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育の推進に努める。

2. 重 点

(1) 授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等において、主体的・対話的で深い学びを通して確かな学力を身に付けることができるよう、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

ア 基礎的・基本的内容に即した教材の工夫と教材研究の深化

イ 個に応じた学習過程と評価を重視した指導の工夫

ウ 各教科等の特質に応じた体験活動や問題解決的な学習を重視した指導の工夫

エ 学校図書室やICTなどを活用した子どもの学びを支援する学習環境の充実

(2) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他の社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもつことができるよう、全教育活動を通じて道徳性の育成に努める。

ア 道徳教育を推進する指導体制の整備・充実

イ 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導の工夫

ウ 郷土を愛する心を育む指導の充実

(3) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、集団や自己の生活上の問題を解決することを通して、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく築いていくことができるよう、必要な資質・能力の育成に努める。

ア 自主的な態度を育てる学級活動・ホームルーム活動の工夫

イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫

ウ 児童の個性の伸長と触れ合いを深めるクラブ活動の工夫

エ 感動や連帯感を高める学校行事の工夫

(4) 体育、健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたって自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体としてとらえ、健やかな体を育む教育の推進に努める。

ア 運動に親しむ資質や能力の育成及び体力の向上を図る指導の充実

イ 健康に関する知識を身に付け、積極的に健康な生活を実践できる指導の充実

ウ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができる指導の充実

エ 安全に関する情報を正しく判断し、安全を確保することができる指導の充実

(5) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応に努める。

ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協働的な指導体制の充実

イ 生徒指導の機能を生かした学年・学級・ホームルーム経営の充実

- ウ 児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実
- エ いじめの積極的な認知と組織的な対応の徹底

(6) キャリア教育の推進

一人一人の子どもが、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質、能力、態度の育成に努める。

- ア キャリア教育指導体制の整備・充実
- イ 現在及び将来の生き方を考える指導・進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達の段階に応じた勤労観・職業観の育成

(7) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもが、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 校内支援体制の充実
- イ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- ウ 個別の教育支援計画の作成と活用による関係機関と連携した支援の充実
- エ 交流及び共同学習による相互理解の促進

(8) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間とのかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 教科等間の関連を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境にかかわる体験学習の充実

(9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語指導助手等の活用や言語活動の工夫・充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

(10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報活用能力を身に付けることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 学習指導におけるICTの適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進
- エ 家庭や地域社会と連携した情報モラルに関する指導の推進

(11) 研修の充実

教員等の資質を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・実践的な研修に努める。

- ア 校内研修体制の整備・充実
- イ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実
- ウ 家庭や地域社会と連携した特色ある教育活動の研究・推進
- エ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

(12) 複式教育の充実

少人数の特性を生かし、一人一人の個性・能力の伸長を図るとともに、社会性の育成に努める。

- ア 学校運営・学級運営の創意工夫
- イ 複式指導の充実

(13) 幼児教育の推進

一人一人の子どもに質の高い幼児教育の提供を目指し、関係機関等との連携を図りながら、提供体制の推進に努める。

- ア 幼保小連携体制の充実
- イ 質の高い幼児教育のための研究・推進

(14) 教育環境の充実

一人一人の子どもが、安全・安心な学校生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、教育環境の充実に努める。

- ア 学校施設の整備・充実
- イ 教育環境の研究・整備

【社会教育指導の方針と重点】

1. 方 針

社会の変化に対応しながら、ライフステージに応じて、自己の啓発・向上をめざし、生きがいのある人生と豊かで住みよい地域社会を実現する社会教育の推進に努める。

2. 重 点

(1) 社会教育推進体制の充実

- ア 社会教育計画に基づく事業の展開・実践
- イ 社会教育施設機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係団体等への活動支援

(2) 学校・家庭・地域との連携及び協働による推進

- ア 学校と地域との協働による教育活動の推進
- イ 家庭教育支援及び学習活動の充実
- ウ キャリア教育の推進

(3) 多様な学習機会の拡充

- ア 青少年の豊かな人間性を育む学習活動の推進
- イ 自主的な学習活動の支援と体制整備
- ウ 読書活動の推進

(4) 多様な生涯スポーツの振興

- ア 社会体育施設の整備と充実及び活用促進
- イ スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進
- ウ スポーツ・レクリエーション活動の普及促進
- エ スポーツ関係団体の育成と活動の推進

【文化財保護行政の方針と重点】

1. 方 針

郷土に対する愛着と誇りを培い、うるおいのある町民生活を実現するため、未来へ伝える貴重な文化財の保存及び活用に努める。

2. 重 点

(1) 文化財の保護及び保存

- ア 国・県及び町の文化財指定の推進
- イ 指定文化財の保存及び防災等の支援
- ウ 文化財保護意識の普及及び啓発
- エ 国指定重要文化財「南部利康霊屋」及び国指定史跡「聖寿寺館跡」の保存管理
- オ 国登録有形文化財の保存支援

(2) 文化財の整備及び活用

- ア 国・県及び町指定文化財の情報発信の推進
- イ 史跡聖寿寺館跡の公有化及び発掘調査・整備と活用の推進
- ウ 南部氏関連史跡・文化財等の調査及び研究の推進

(3) 伝統芸能及び技術の継承

- ア 伝統芸能の保存及び後継者の育成支援
- イ 伝統芸能の発表機会の充実
- ウ 子どもの伝統芸能伝承活動の推進

【学校給食重点目標】

- (1) より安全・安心のおいしい給食を目指す。
- (2) 栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかる。
- (3) 手作りの料理を心がける。
- (4) 伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にする。
- (5) 地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。

教育委員会事務事業一覧

◇学校教育指導の重点との関連

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
1	スクールサポーター支援員配置事業	18	学務課
2	スクールカウンセラー配置事業	18	〃
3	小学生国内交流事業	19	〃
4	教育支援委員会事業	19	〃
5	就学援助事業	20	〃
6	学校の芸術文化活動事業	21	〃
7	学校施設管理事業	21	〃
8	奨学金貸付事業	22	〃
9	特別支援教育就学奨励費補助事業	22	〃
10	中学生海外派遣事業	23	〃
11	外国語指導助手派遣事業(旧:語学指導外国語青年招致事業)	23	〃
12	教職員研修事業	24	〃
13	幼稚園就園奨励費補助事業	24	〃

◇社会教育指導の重点との関連

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
14	家庭教育講座(おもしろ体験教室)	25	社会教育課
15	青年教室	25	〃
16	まべち笑楽校	26	〃
17	南部ふるさと塾	27	〃
18	学校と地域ネット推進事業	28	〃
19	平成30年南部町成人式	29	〃
20	南部町文化賞・スポーツ賞表彰式	30	〃
21	南部七唄七踊り実行委員会補助金事業	30	〃

◇文化財保護行政の重点との関連

番号	事 務 事 業 名	ページ	担当課・所
22	文化財審議委員会議	31	社会教育課・ 史跡対策室
23	町内文化財パトロール事業	31	〃
24	南部学研究会	32	〃
25	奥州街道の整備・活用・普及事業	33	〃
26	国指定重要文化財『南部利康霊屋』の保存管理・公開活用	33	〃
27	史跡聖寿寺館跡調査整備委員会	34	〃
28	史跡聖寿寺館跡土地公有化事業	34	〃
29	史跡聖寿寺館跡整備事業	35	〃
30	史跡聖寿寺館跡の発掘調査	36	〃
31	史跡聖寿寺館跡の活用(見学・体験発掘・出前授業)	37	〃
32	史跡聖寿寺館跡案内所の運営・管理	38	〃
33	伝統芸能・技術の継承事	38	〃

◇社会教育指導の重点との関連

番号	事 務 事 業 名	ページ	担当課・所
34	趣味の教室	39	公民館
35	アロマフィットネス講座	39	〃
36	英会話教室(初級)	40	〃
37	ルーシーダットン教室	40	〃
38	第11回町民運動会	41	体育館
39	第12回町民歩け歩け運動大会	41	〃
40	第7回総合優勝制スポーツ大会	42	〃
41	ニューススポーツinスクール	43	〃
42	ニューススポーツ移動教室	44	〃

番号	事 務 事 業 名	ページ	担当課・所
43	転倒・寝たきり予防教室	45	B&G 海洋センター
44	水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム	46	〃
45	B&G全国ジュニア水泳競技大会出場推進事業	47	〃
46	B&Gスポーツ大会青森県大会推進事業	47	〃
47	小学校水泳教室	48	〃
48	第4回南部町駅伝競走大会	49	〃
49	第25回青森県民駅伝競走大会実行委員会補助金事業	50	〃
50	岩手県山田町マリンスポーツ体験交流会	51	〃
51	第33回うぐいすマラソン大会	52	〃

◇学校給食の重点目標

番号	事 務 事 業 名	ページ	担当課・所
52	より安全・安心のおいしい給食を目指す。	53	学校給食 センター
53	栄養バランスのとれた食事内容の充実を図る。	53	〃
54	手作りの料理を心がける。	54	〃
55	伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にする。	54	〃
56	地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。	55	〃

事業毎個別評価の観点

1. 事業の評価

事務事業の実績の評価は、南部町の教育の施策に基づいて、各事務事業の担当者が事務事業評価表を作成することにより行われます。評価の基準となる項目は、計画性・効率性・効果性・妥当性の4項目で検討され、次表の3段階で評価します。

- ・**計画性**：事業を必要とする社会的ニーズ、事業の進捗状況および終期の設定など事務事業が計画的に取り組まれているかを評価します。
- ・**効率性**：コストの節減効果、一人当たりの事業費の高低、類似事業との比較などにより効率性を評価します。
- ・**効果性**：総合計画実現への効果、目標とする成果に対する達成度を、経年的に把握することや、事業に対する町民のニーズ、計画段階からの町民参画、町民との協働など、町民の視点に立った事業となっているかを評価します。
- ・**妥当性**：町が実施主体になるべき事業か、他の事業と併せて実施することができないかなど、事務事業実施の妥当性を評価します。

項 目	目標達成度	効果性に対し
評 価 が 高 い 事 業	◎(期待どおり)	80%以上
評 価 が 中 位 の 事 業	○(ほ ぼ 達 成)	60～80%
評 価 が 低 い 事 業	△(期 待 以 下)	60%以下

2. 総合評価

総合評価は、1の「事業の評価」を踏まえ事務事業毎に今後の方向性を検討しています。

拡 充	対象の拡大や手段の充実により事業を拡充し、さらに成果の向上を図る。	A
継 続	現状の状態で成果があがっているため、効率化に努めながら事業を継続する。	B
改善・縮小	対象や手段の変更、手段の絞り込み等により見直しを図り、事業の適性化・コスト削減また成果の向上を図る。	C
統合あるいは 休止・廃止	事業目的の意義の低下または社会情勢の変化により、事業を一時的に休止・廃止するもの。または、目的が関連・類似する他の事業への整理・統合するもの。	D

スクールサポーター支援員配置事業		事業の評価 ◎										
(1)授業の充実		総合評価 B										
概要	教育上特別な支援を必要とする、あるいは不安を抱える児童生徒に対し、学校生活上の支援や学習活動上の支援、相談活動などを行う支援員を小・中学校に配置する。											
実績	小中学校の通常学級に在籍する多動傾向や介助を必要とする児童生徒に、学級担任教諭を支援する目的として各校に1名ずつ配置し、年間で950時間程度の勤務とした。 <table border="1"> <tr> <td>配置校</td><td colspan="2">全12校 (各1名)</td></tr> <tr> <td rowspan="3">事業費</td><td>小学校配置8名</td><td>8,797千円</td></tr> <tr> <td>中学校配置4名</td><td>4,560千円</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>13,357千円</td></tr> </table>		配置校	全12校 (各1名)		事業費	小学校配置8名	8,797千円	中学校配置4名	4,560千円	合 計	13,357千円
配置校	全12校 (各1名)											
事業費	小学校配置8名	8,797千円										
	中学校配置4名	4,560千円										
	合 計	13,357千円										
成果	学級担任教諭との連携により、目の行き届いた指導や細やかな支援、安全への配慮ができるようになり、全児童生徒が授業や諸活動に集中できるようになった。											
評価と方向性	全12校に配置し、教育上特別な支援を必要とする、あるいは不安を抱える児童生徒への支援ができており、今後も継続して行く。配置希望のある学校に対し、増員等の支援ができるようにしたい。											

スクールカウンセラー配置事業		事業の評価◎						
(1)授業の充実、(5)生徒指導の充実		総合評価B						
概要	学校におけるいじめや不登校児童生徒の問題行動等の対応にあたり、臨床心理に関して高度で専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーを配置、派遣し、教育相談体制の充実を図る。(県の事業)							
実績	児童生徒へのカウンセリング、教諭及び保護者に対するカウンセリングや助言・援助を行った。 <table><tr><td>派遣校</td><td>福地中・杉沢中・名川中・南部中 福地小・福田小・剣吉小・名久井小・向小</td></tr><tr><td>配置時間</td><td>441時間／年間</td></tr><tr><td>事業費</td><td>県費負担</td></tr></table>		派遣校	福地中・杉沢中・名川中・南部中 福地小・福田小・剣吉小・名久井小・向小	配置時間	441時間／年間	事業費	県費負担
派遣校	福地中・杉沢中・名川中・南部中 福地小・福田小・剣吉小・名久井小・向小							
配置時間	441時間／年間							
事業費	県費負担							
成果	以前に比べ、少しずつではあるが自主的に相談を受ける児童生徒も増加し、有効に活用されている。 派遣校も前年より増え、児童・生徒・保護者のみならず教職員からの相談等にも対応し、効率的なカウンセリングにより成果があげられている。							
評価と方向性	カウンセラーは、1校に対し2～3年の継続が必要である。今後は配置されていない小学校に対し、必要に応じて配置を検討する。							

小学生国内交流事業		事業の評価 ◎								
(1)授業の充実、(2)道徳教育の充実、(3)特別活動の充実		総合評価 B								
概要	南部氏の縁に結ばれた山梨県南部町の児童との交流を通して、ふるさとの歴史や自然等について、理解を深めるとともに、新しい時代の主役となる児童の友情や愛郷心を育むことを目的とし、訪問地ならではの体験やゲームなどをおとして交流を深める。									
実績	平成29年度は、山梨県南部町を訪問(青森県と山梨県で隔年交互訪問)し、交流ゲームや砂金採り体験、南部氏ゆかめの地の見学等をおとして交流を深め、両町の歴史的なつながりや町の特色についての理解を深めた。 <table><tr><td>実施時期</td><td>7/26(水)～7/28(金)</td></tr><tr><td>当町参加児童</td><td>30名(5・6学年) 山梨県南部町参加児童 30名</td></tr><tr><td>事業費</td><td>1,698千円</td></tr><tr><td>当町参加者負担金</td><td>10千円/名(一般会計の雑入300千円)</td></tr></table>		実施時期	7/26(水)～7/28(金)	当町参加児童	30名(5・6学年) 山梨県南部町参加児童 30名	事業費	1,698千円	当町参加者負担金	10千円/名(一般会計の雑入300千円)
実施時期	7/26(水)～7/28(金)									
当町参加児童	30名(5・6学年) 山梨県南部町参加児童 30名									
事業費	1,698千円									
当町参加者負担金	10千円/名(一般会計の雑入300千円)									
成果	青森県・山梨県南部町の計60名の児童が、様々な交流活動をおとして友情を育んだ。 また、南部氏供養塔や古井戸の見学、南部氏にまつわる歴史的な講話を聞くことで、両町のつながりについて理解を深め、愛郷心を育んだ。 事業実施後は、青森県・山梨県南部町の参加者がそれぞれ作成した、思い出の記録集を参加者全員に配布するなど、交流事業終了後も相互に親交を深めることが出来た。									
評価と方向性	両町の歴史的なつながりを理解し、また愛郷心を育むことのできる、教育的効果の高い事業であるため、今後も継続の予定である。									

学務課関係 No.4

教育支援委員会事業		事業の評価◎
(1)授業の充実、(7)特別支援教育の充実		総合評価B
概要	幼児及び児童生徒について、専門的調査や検査を行って、就学期間等の適切な教育措置についての判断を行う。特別の支援を要する幼児及び児童生徒の就学に係る教育相談を実施する。	
実績	○ 判断件数 幼児 5件 児童 22件 生徒 6件 計 33件	
成果	幼児及び児童生徒の検査結果により、特別の支援を要する者の保護者に対して専門的な指導、助言を行い、保護者が適正な就学先を選択することができた。 前年度より13件の増。	
評価と方向性	保育園、幼稚園、小・中学校からの相談について、専門的な調査・検査を行い、各学校において保護者等への就学支援・相談業務を円滑に実施している。しかし、一部検査結果を受入れられない保護者もいるため、学校・教育支援委員会の密な連携が必要である。 また、専門的検査が必要となるので、検査研修や検査員の委託など、今後の検査のあり方を検討する必要がある。	

就学援助事業		事業の評価 ◎												
(1)授業の充実		総合評価 B												
概要	児童生徒に対し、学用品費・修学旅行費を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。 なお、給食費については、平成27年度から実施の給食費無料化に伴い、援助の対象から除いた。 平成29年度 認定基準 ○ 要 保 護：生活保護受給者 ○ 準要保護：次のいずれかの措置を受けた者で、前年度の所得が生活保護基準額の1.1倍以下の世帯に属する者 - 生活保護受給停止または廃止 - 世帯全員が市町村民税非課税世帯 - 世帯全員が市町村民税の全額減免 - 世帯全員が国民年金保険料を全額免除 - 国民健康保険料(税)全額減免または徴収猶予 - 児童扶養手当の全額受給 - 世帯の経済状態が悪く、学校納付金の支払いが困難(収入指数1.1倍以下)													
実績	○ 要保護児童生徒 <table border="1"> <tr> <td>認定者数</td><td>小学生 4名</td><td>中学生 2名</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>47千円</td><td>95千円</td></tr> </table> ※要保護児童生徒の、援助対象は修学旅行費のみである。 ※要保護児童生徒に係る事業費の1/2以内で国庫補助金あり。 ○ 準要保護児童生徒 <table border="1"> <tr> <td>認定者数</td><td>小学生 85名</td><td>中学生 55名</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>2,407千円</td><td>3,683千円</td></tr> </table>		認定者数	小学生 4名	中学生 2名	事業費	47千円	95千円	認定者数	小学生 85名	中学生 55名	事業費	2,407千円	3,683千円
認定者数	小学生 4名	中学生 2名												
事業費	47千円	95千円												
認定者数	小学生 85名	中学生 55名												
事業費	2,407千円	3,683千円												
成果	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な援助を適切に行うことができた。													
評価と方向性	義務教育の円滑な実施を図るために、学校及び関係課と連携し今後も継続して実施していく。													

学校の芸術文化活動事業		事業の評価 ○
(3)特別活動の充実		総合評価 B
概要	文化庁の事業として実施されている「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業・派遣事業)」を活用し、小・中学校から希望を募り実施する。 本事業のうち派遣事業は、文化庁からの照会に対して、学校が事業内容を企画・応募し、審査の結果により実施されるものである。	
実績	○ 平成29年度は、各学校に開催希望を募ったところ、以下の希望があり事業を開催した。 芸術家の派遣事業 えんぶり(杉沢小学校) 12/7(木)、12/14(木) … 70千円 巡回公演事業 歌舞伎・能楽の公演(南部中学校) 11/6(月)	
成果	芸術家の派遣事業では、伝統芸能「えんぶり」を体験したことで、児童ひとりひとりの感性を磨き、郷土愛を深めることができた。 また、巡回公演事業では、普段目にすることができない歌舞伎・能楽を生で見ることにより、生徒たちが広い視野を身につける貴重な機会となった。	
評価と方向性	文化庁の事業であるが、児童生徒が文化芸術と接する貴重な機会を得ることができるため、今後もさらに体験する機会を作っていく必要がある。	

学務課関係 No.7

学校施設管理事業		事業の評価 ◎
(14)教育環境の充実		総合評価 A
概要	小中学校の学校施設を良好に維持していくために、施設管理業務、維持補修及び改修工事を実施し、健全な学校生活環境の整備を行う。	
実績	小中学校の修繕及び施設整備工事の施工を実施した。 ・施設修繕 7, 163千円(小中学校12校の施設修繕) ・施設整備 202, 274千円(福地中学校大規模改修工事)	
成果	計画した小中学校の修繕及び管理業務の他、施設整備工事を施工し、学校の環境整備が図られた。	
評価と方向性	施設の老朽化により必要な修繕・維持工事は実施している。 今後も、利便性向上のため修繕・維持工事を行っていく必要があるが、築25年以上経過した学校施設については、部分的補修ではなく、施設の全面改修工事の実施を検討する必要がある。	

奨学金貸付事業		事業の評価 ◎
(6)キャリア教育の推進		総合評価 B
概要	町内に住所を有する者の子で、高等学校以上の学校に在学し、勉学の意欲を有し、心身共に健康で、かつ経済上の理由で就学が困難と認められる者に対し、就学に必要な資金を貸し付けることにより有能な人材の育成に努める。	
実績	貸付の状況 ○平成29年度実績 ・貸付人数46名(新規採用者12名) - 高等学校 4名 ・ 専門学校 5名 ・ 短期大学 2名 ・ 大学 35名 ・貸付総額 20,800,000円 ・滞納状況 - 一般会計:16名 6,107,200円 - 奨学基金:17名 5,902,600円	
成果	将来を担う学生が就学するための手助けとなった。 なお、新規貸付者及び全体の貸付額は昨年度より減少している。	
評価と方向性	経済上の理由から就学のための資金を必要としている者への貸付として、事業の継続が必要である。 現在、貸付の決定は内規で定める採用基準により実施している。 今後も貸付事業を継続して実施していくために、返還金の滞納者への働きかけを継続して実施し、滞納額が減少するよう努力していく。	

学務課関係 No.9

特別支援教育就学奨励費補助事業		事業の評価 ◎						
(7)特別支援教育の充実		総合評価 B						
概要	学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童生徒、特別支援学級等へ就学する児童生徒の世帯の所得に応じて、学用品費等の補助を行う。 なお、給食費については、平成27年度から実施の給食費無料化に伴い、補助の対象から除いた。							
実績	○ 特別支援学級 <table border="1"> <tr> <td>認定者数</td><td>小学生 5名</td><td>中学生 2名</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>29千円</td><td>22千円</td></tr> </table> ※事業費の1/2以内で国庫補助金あり。		認定者数	小学生 5名	中学生 2名	事業費	29千円	22千円
認定者数	小学生 5名	中学生 2名						
事業費	29千円	22千円						
成果	認定された児童生徒及び特別支援学級等へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減できた。							
評価と方向性	認定された児童生徒及び特別支援学級等へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担や心の負担の軽減できる事業であるため、学校との連携をしながら今後も継続していく。 将来を担う児童生徒が就学するための手助けとなった。							

中学生海外派遣事業		事業の評価	◎
(9)国際化に対応する教育の推進		総合評価	B
概要	海外の歴史や文化・産業等の視察や現地の学生と交流を図り、国際感覚を養う。 また、ホームステイの体験を通してコミュニケーション能力を養う。		
実績	町内4中学校の2学年から参加生徒を選抜し(杉沢中学校からは参加生徒なし)、6泊8日の日程でカナダのブリティッシュコロンビア州(バンクーバー)に派遣した。 現地では、ホームステイや体験型語学研修として学生と交流を図った。		
成果	海外を訪問し、国際感覚やコミュニケーション能力を身につけたことにより、積極性やリーダーシップに目覚め、学校内外の活動に取り組む姿勢等に変化が現れた。		
評価と方向性	訪問学校やホームステイ先などで、生の英語に触れる機会に恵まれるとともに、様々な施設の見学や体験活動をとおして広い視野を身につけた。 中学生生徒数の減少にともない、募集人員の見直し(平成30年度からは募集人員を30名にする予定)や研修先の検討などを行う必要がある。		

学務課関係 No.1 1

外国語指導助手派遣事業 (旧:語学指導外国語青年招致事業)		事業の評価	○
(9)国際化に対応する教育の推進		総合評価	A
概要	英語を母国語とする外国語指導助手(以下、ALT)が児童生徒の身近にいることにより、英語能力の向上及び興味・関心を持つことを図る。		
実績	民間業者への委託 ALT 2名 ※委託料:1か月766,800円 2名を小・中学校の英語指導の助手として配置した。 小・中学校へは毎週訪問し、授業のほか、英会話スピーチコンテスト、中学生海外派遣事業の英語面接や英会話指導を行った。		
成果	ALTの活用により、授業の質の向上や児童生徒の学力向上、英語教育の指導体制の充実が図られた。 また、中学生のスピーチコンテストでは県大会へ出場し優秀な成績を収めている。		
評価と方向性	2名のALTの活用により、外国語活動や英語の授業において、単語の正しい発音やコミュニケーション能力の向上を図ることができた。 2,020年より小学校外国語教育が全面実施となるため、平成30年度からはALTの人数を3名に増員し、今まで以上に各学校における外国語活動・授業の充実を図るため、予算措置を行う方向で検討している。 また、ALTの活用に係る教員向け(主に小学校教員)の研修を年2回程度実施し、教員の指導力向上に向けた取り組みも実施していく予定である。		

教職員研修事業		事業の評価	○
(11)研修の充実		総合評価	B
概要	教職員の新採用者に対して、南部町の教育課題・文化歴史等について理解を深めてもらうことを目的に実施する。 南部町の歴史、文化、各種事業の内容を理解し、教職員の認識向上を図り学習指導に取り入れている。		
実績	○南部町ふるさと研修(4/28) 対象者:3名 【町内文化財巡り箇所】 1. 史跡「聖寿寺館跡」及び南部利康霊屋 2. 腰掛石 3. 名川地区各館跡 4. 法光寺及び周辺文化財 5. 剣吉城跡 6. 福地地区館跡 7. 相内観音堂及び相内館跡 ※現地説明(講師:社会教育課 史跡対策室 布施総括主査)		
成果	学務課長(教育長代理)による教育課題等の説明後、合併10周年記念DVDを活用して町の概要を紹介。そのほか、実際に現地を訪れて南部氏に関連する文化財や町の歴史・文化への理解を深めた。		
評価と方向性	研修を通じて町の教育課題や歴史・文化の重要性を広く深く理解し、児童生徒の指導に役立つよう研修内容を検討し、ステップアップを図る。		

幼稚園就園奨励費補助事業		事業の評価	—
(13)幼児教育の推進		総合評価	—
概要	私立幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、世帯の所得状況に応じて保育料の一部を減免(補助)し、幼稚園教育の振興に資する。		
実績	対象者なし		
成果	実績なし		
評価と方向性	認定された園児及び保護者の経済的負担や心の負担の軽減できる事業であるため、私立幼稚園と連携をとりながら今後も継続していく。		

家庭教育講座（おもしろ体験教室）		事業の評価	○
(2)学校・家庭・地域との連携及び協働による推進		総合評価	B
概要	親子でのいろいろな体験活動によるコミュニケーションやふれあいの時間を作るための講座を開催する。		
実績	○ 親子での参加による体験活動型の講座を開催した。		
	参加者数	20名（小学生、保護者）	
	開催回数	2回	
	開催場所	名川ドライフラワーセンター	
	講座内容	12月：雪だるまポット、お正月しめ飾り	
	事業費	33千円（講師謝礼）	
成果	親子で、共同して制作活動を行うことにより、各工程において、コツなどの会話がはずみコミュニケーションづくりの一助となった。		
評価と方向性	親子で参加する事業であったため、コミュニケーションづくりが図られ、事業の目的は概ね達成できた。今後については、内容、回数、開催日、対象者を検討し継続したい。		

社会教育課関係 No.1 5

青年教室		事業の評価	○																
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B																
概要	青年による自発的な学習・体験・交流活動を目的に、親睦を深め、同世代の「つながりの輪」を広げるとともに若者による町づくりを考える。																		
実績	<table><tr><td>参加者数</td><td>延べ55名</td></tr><tr><td>開催回数</td><td>4回</td></tr><tr><td>講座内容</td><td>第1回 10/24 (火) パソコンで作る思い出のスライドショー①</td></tr><tr><td>開催日</td><td>第2回 11/28 (火) パソコンで作る思い出のスライドショー②</td></tr><tr><td></td><td>第3回 1/6 (土) パソコンで作る思い出のスライドショー③</td></tr><tr><td></td><td>第4回 2/18 (日) スキー教室</td></tr><tr><td>開催場所</td><td>南部町立南部公民館 奥中山高原スキー場</td></tr><tr><td>事業費</td><td>20千円(講師謝金)</td></tr></table>			参加者数	延べ55名	開催回数	4回	講座内容	第1回 10/24 (火) パソコンで作る思い出のスライドショー①	開催日	第2回 11/28 (火) パソコンで作る思い出のスライドショー②		第3回 1/6 (土) パソコンで作る思い出のスライドショー③		第4回 2/18 (日) スキー教室	開催場所	南部町立南部公民館 奥中山高原スキー場	事業費	20千円(講師謝金)
参加者数	延べ55名																		
開催回数	4回																		
講座内容	第1回 10/24 (火) パソコンで作る思い出のスライドショー①																		
開催日	第2回 11/28 (火) パソコンで作る思い出のスライドショー②																		
	第3回 1/6 (土) パソコンで作る思い出のスライドショー③																		
	第4回 2/18 (日) スキー教室																		
開催場所	南部町立南部公民館 奥中山高原スキー場																		
事業費	20千円(講師謝金)																		
成果	近年の社会状況や就業形態の多様化により、青年の集まれる機会が少ないため、成人式実行委員に参加いただき行った。																		
評価と方向性	本事業は、合併以来行ってきた事業ではあるが、若者を取り巻く社会状況や就業形態の多様化により参加者の獲得は非常に厳しい。参加者が少ないので、内容を考慮し、自発的に活動、継続をすることが望ましい。																		

まべち笑楽校		事業の評価◎																					
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価B																					
概要	月2回(第1・第3火曜)、高齢者(60歳以上)の生きがいをづくりをねらいとして、学校方式を模して学習活動を行う。 地域の各種愛好者を指導者に迎え、学習内容を国語、算数、理科、社会、体育、音楽、家庭生活、図画工作、外国語、総合の教科に置き換える。																						
実績	<table><tr><td>参加者数</td><td>18名</td><td>男性3名</td><td>女性15名</td></tr><tr><td>開催回数</td><td colspan="3">15回</td></tr><tr><td>講座内容</td><td colspan="3">入学式 5/9 授業日 5/9、5/23、6/6、6/20、7/4、7/18、 10/3、10/5、10/17、11/7、12/5、 12/19、2/6、2/20、3/11 卒業式 3/27 修学旅行 10/17 八戸市方面</td></tr><tr><td>開催場所</td><td colspan="3">中央公民館、剣吉公民館 ほか</td></tr><tr><td>事業費</td><td colspan="3">87千円(講師謝金、消耗品等)</td></tr></table>			参加者数	18名	男性3名	女性15名	開催回数	15回			講座内容	入学式 5/9 授業日 5/9、5/23、6/6、6/20、7/4、7/18、 10/3、10/5、10/17、11/7、12/5、 12/19、2/6、2/20、3/11 卒業式 3/27 修学旅行 10/17 八戸市方面			開催場所	中央公民館、剣吉公民館 ほか			事業費	87千円(講師謝金、消耗品等)		
参加者数	18名	男性3名	女性15名																				
開催回数	15回																						
講座内容	入学式 5/9 授業日 5/9、5/23、6/6、6/20、7/4、7/18、 10/3、10/5、10/17、11/7、12/5、 12/19、2/6、2/20、3/11 卒業式 3/27 修学旅行 10/17 八戸市方面																						
開催場所	中央公民館、剣吉公民館 ほか																						
事業費	87千円(講師謝金、消耗品等)																						
成果	高齢者の自発的な活動をねらい、学習内容は話し合いで決めている。学習活動では、参加者の積極性が伺われ、常に笑いがあり明るい雰囲気の中での学習が出来た。教科内容については南部町に関わるものとするに努め、講師は主に町内在住者に依頼した。 参加者からは、「他地区の人と知り合えた」、「色々な事が勉強できた」、「1年間楽しかった」などの感想が寄せられるなど、高齢者の学習意欲の向上が図られ、生きがいをづくりの一助となった。																						
評価と方向性	平成29年度において5期目の開催となった。同窓会も組織され、今後、社会活動への参加も期待できる。 まべち笑楽校の学習活動は参加者に好評であり、高齢者の生きがいをづくりとなるため、今後も継続が望ましい。																						

南部ふるさと塾		事業の評価 ◎
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価 A
概要	南部藩発祥の地と云われる南部町は奥州南部氏の入部にはじまり、南北朝時代・室町時代を経て戦国時代に至るまで南部地方の政治・経済・文化の中心地であった。町内には南部氏に関わる城館跡や文化財・伝承が数多く残っている。南部ふるさと塾では、この歴史的な魅力あふれる地域性を活かし、南部地方の歴史に関連する各分野の研究者を講師として招き、町内外を問わず広く、郷土の歴史・伝統・文化を学習する場を提供することを目的としている。 平成29年度のテーマは『三戸南部氏と南部一族の興亡』と題し、中世南部氏の成立から戦国大名に至るまでの過程と、江戸前半期に近世大名としての基礎を確立するまでについて、全7回のシリーズを通して考古学や文献史学など様々な角度から検証する。	
実績	全体テーマ『三戸南部氏と南部一族の興亡』 来場者合計 1,383名(過去最高) 第1回 弘前大学名誉教授 齊藤利男氏『南部屋形三戸南部氏の歴史を探る』 9/2 参加者：215名 会場：町民ホール 第2回 岩手大学教授 菅野文夫氏『南部氏の室町時代』 9/30 参加者：190名 会場：町民ホール 第3回 青森県埋蔵文化財調査センター 齋藤正氏『津軽における南部系城郭』 10/28 参加者：136名 会場：町民ホール 第4回 八戸工業大学第二高等学校教諭 熊谷隆次氏『南部信直と南慶儀・檜山義実』 11/25 参加者：203名 会場：町民ホール 第5回 南部町教育委員会社会教育課史跡対策室総括主査 布施和洋 『平ヶ崎城から聖寿寺館跡、そして新三戸城へ』 1/27 参加者：179名 会場：町民ホール 第6回 青森県環境生活部県民生活文化課県史編さんグループ 若松啓文氏 『九戸一族の興亡』 2/24 参加者：281名 会場：町民ホール 第7回 岩手大学名誉教授 細井計氏『南部重直とその子供たち』 3/17 参加者：179名 会場：町民ホール ○ 事業費 240千円(講師謝金)	
成果	講座毎に毎回実施しているアンケートに基づき、次年度のテーマや講師を選定した。講師選定にあたっては、東京の出版社による本講座の書籍化の話がきていることから、弘前大学名誉教授の齊藤利男氏や共催団体の町歴史研究会と協議し決定した。また、当日の受付等の会場運営を歴史研究会と共同で行った。毎回、200名前後の参加者があり、八戸市や二戸市等近隣市町村はもとより青森市、弘前市、盛岡市、秋田市、宮城県、千葉県、神奈川県など遠方からの参加者もあり、シリーズものの歴史講座としては全国的に有数の規模となっている。特に第6回講座では過去最高の281名が来場した。 はじめての参加者が13%を占め、新規参加者の開拓に成果があった。千葉県から来場した20代女性は7回全てに参加していた。	
評価と方向性	町外の参加者に対し、歴史をとおして町をPRすることができた。歴史講座の参加者数としては全国的にも有数の規模であり、南部町の歴史や文化財を地域資源として掘り起し、今後も講座をとおして町内外にPRするため継続が望まれる。南部ふるさと塾の取り組みは平成30年9月5日実施の知事とのまるごとトーク(県主催事業)に取上げられた。	

学校と地域ネット推進事業		事業の評価	◎
(2) 学校・家庭・地域との連携及び協働による推進		総合評価	A
概要	小・中学校の要望に応じて、各分野の専門家、愛好家に学校教育活動に講師として参加してもらい、児童・生徒の基礎的事項の定着を図り、地域に対する愛着の心を育むことを目的にした事業を行う。		
実績	○ 学校の要望に応じた講師（ゲストティーチャー）を派遣する。 学校が社会教育課へ計画書を提出する。講師との連絡調整は社会教育課が行う。		
	対 象 者	児童、生徒、一般	
	講 師	17名 9団体	
	開催回数	132回	
	開催場所	小・中学校	
	学習項目	踊り・郷土芸能 — 名川音頭・福地音頭・南部手踊り・えんぶり・ダンス・なにやどやら 学術・歴史 — 南部七踊り鑑賞会・ふるさとの歴史 生活・産業 — 郷土料理・豆腐づくり・米作り・コサージュ作成 趣味・娯楽 — 読み聞かせ・将棋・囲碁・詩吟 音楽・楽器 — ギター・歌唱指導・尺八演奏・三味線・サクソ その他 — 陸上指導・自転車教室	
	事業費	336千円(講師謝金)	
	成果	町の歴史や郷土芸能など、地域の専門家・愛好家の指導により本物を体感することができ、学校・地域の連携の一助となった。 講師は主に地域在住の方に依頼しているので、「地元へ貢献したい」との意識が感じられた。	
評価と方向性	文化・歴史・芸能等に精通している方や、地域在住の方に講師を依頼することにより、学校と地域の連携が多く見られた。 今後の課題として、様々な分野の新規講師の発掘・確認とともに、関係各課との連携など臨機応変に対応する必要があると考える。 学校教育・社会教育ともに学習効果が大きいと、今後も事業の継続が望まれる。		

平成30年南部町成人式		事業の評価	◎						
(1) 社会教育推進体制の充実		総合評価	B						
概要	成人式実行委員会 新成人自らの手で、大人への節目である成人式を作り上げることを目的として組織し、式典内の各代表や係分担、アトラクション他、企画・運営にかかわる様々な事項を協議する。 成人式の開催 町連合青年団の協力により、式典・アトラクション（実行委員会作成によるスライド上映）・記念写真撮影を行う。								
実績	○ 開催日時 平成30年1月7日（日）13時00分～ ○ 開催場所 町民ホール（楽楽ホール） ○ 事業費 477千円 ○ 事業内容 式典、アトラクション（実行委員会作成によるスライド上映）、記念写真撮影（記念品） <table><tr><td>対象者</td><td>225名</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>180名（出席率80.0%）</td></tr><tr><td>実行委員会</td><td>3回</td></tr></table>			対象者	225名	参加者数	180名（出席率80.0%）	実行委員会	3回
対象者	225名								
参加者数	180名（出席率80.0%）								
実行委員会	3回								
成果	町連合青年団及び成人式実行委員会の協力・連携により、円滑に式典を進行できた。 また、青年団については前回と同様に多くの人数から協力が得られた。 なお、冬場の寒い時期の開催ではあるが、受付時間においては混雑など支障を来すことなく運営ができた。								
評価と方向性	成人式を青年教育の一つとし、成人としての自覚と自己の責任を持つ決意を促すことができるよう、実行委員会の役割や町連合青年団との関わりを多く持たせ、将来の町の担い手となる新成人に「地域づくり」へ参加する機会となるよう、町連合青年団と連携していく。								

南部町文化賞・スポーツ賞表彰式		事業の評価	◎
(1) 社会教育推進体制の充実		総合評価	B
概要	町の文化向上に貢献した者、町の体育・スポーツに振興発展に功績があった者を表彰する。		
実績	○ 開催日 平成30年2月3日（土）		
	○ 開催場所 町民ホール（楽楽ホール）		
	○ 事業費 156千円		
	文化功労賞	1名	
	文化賞	52名（団体2、個人18人）	
	文化奨励賞	71名（団体1、個人31人）	
	スポーツ功労賞	該当者なし	
	スポーツ賞	9名	
成果	文化の向上、体育・スポーツ振興に功績のあった方々を表彰した。		
	町民の模範とみられる功績があった方々への賞であることと、受賞者には今後の励みとなることから継続が望まれる。		

社会教育課関係 No.21

南部七唄七踊り実行委員会補助金事業		事業の評価	◎
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B
概要	南部七唄七踊りの啓発、普及、後継者育成を目的に大会を行う。		
実績	○開催日 9／24（日）		
	○開催場所 町民ホール（楽楽ホール）		
	○実行委員会 年4回 大会の内容を協議		
	出場者数	七唄小学生の部	4名
		七唄中・高生の部	3名
		七踊り子どもの部	36名
七踊り大人の部		20名	
事業費	2,900千円（町補助金） 724千円（町補助金（DVD制作分）町村の魅力発信事業助成金：青森県町村会）		
成果	南部七踊りの大会が23回、南部七唄の大会が18回開催され、会場に入りきらないほどの盛況で、テレビ放映もあり関心の高さがうかがえる。 大会出場者の大人の部の年齢層が若い世代に移行しているので後継者育成が進行している。 県町村会の助成を受け、南部七踊りのDVDを制作した。		
評価と方向性	南部七唄七踊りは町の文化財にも指定され、多くの方々に支持されているため継続が望まれる。 また、DVDの制作が後継者育成の一助となることが望まれる。		

文化財審議委員会議		事業の評価◎																
(1) 文化財の保護及び保存		総合評価B																
概要	文化財審議委員会議の開催。 文化財審議委員による町指定文化財候補物件の調査、文化財の指定。																	
実績	<table><tr><td>会議の開催日</td><td>8／28</td><td>2／10</td></tr><tr><td>法光寺所蔵文化財調査</td><td>6／22</td><td></td></tr><tr><td>視察研修 (おいらせ町阿光坊古墳館)</td><td>7／4</td><td></td></tr><tr><td>三八地区文化財保護研究集会</td><td>10／18</td><td>会場：史跡聖寿寺館跡案内所</td></tr><tr><td>事業費</td><td>128千円</td><td></td></tr></table>			会議の開催日	8／28	2／10	法光寺所蔵文化財調査	6／22		視察研修 (おいらせ町阿光坊古墳館)	7／4		三八地区文化財保護研究集会	10／18	会場：史跡聖寿寺館跡案内所	事業費	128千円	
	会議の開催日	8／28	2／10															
	法光寺所蔵文化財調査	6／22																
	視察研修 (おいらせ町阿光坊古墳館)	7／4																
	三八地区文化財保護研究集会	10／18	会場：史跡聖寿寺館跡案内所															
事業費	128千円																	
成果	法光寺所蔵の文化財を調査し、現在「西有穆山関係資料」の町指定に向けて調査を継続している。 平成29年6月28日付けで法光寺承陽塔が国登録有形文化財となり、平成30年2月21日付けで片岸、玉掛、大向のえんぶり組を町指定無形民俗文化財に指定した。																	
評価と方向性	町指定文化財の候補物件は毎年地道に調査し、所有者の了承を得た上で指定していく必要がある。																	

史跡対策室関係 No.2 3

町内文化財パトロール事業		事業の評価	○
(1) 文化財の保護及び保存		総合評価	B
概要	町内に所在する文化財について、パトロールを通して現状を把握し保護活動に努める。		
実績	主な業務	遺跡の範囲変更及び新規遺跡の登録 土地開発等による埋蔵文化財の破壊や盗掘の有無の確認 文化財・埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握	
	パトロール件数	70件	
	新規遺跡登録	なし	
	実施日	通年	
	事業費	— 円 県費負担	
成果	文化財・埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握することができた。 今回のパトロールでは文化財に異常は確認されなかった。		
評価と方向性	文化財・埋蔵文化財の保護には必要不可欠な事業であり、今後も継続してパトロールを実施する必要がある。		

南部学研究会		事業の評価	◎	
(2) 文化財の整備及び活用		総合評価	A	
概要	数年に一度、町民や県内外の人々を対象とし、最新の調査研究成果・発掘成果を通じて、史跡聖寿寺館跡をはじめとする南部町の歴史文化遺産を全国に発信することを目的とする。			
実績	○ 第4回南部学研究会『戦国大名南部氏と北奥の守護所・戦国城下町』			
	開催日	12/17 9:45～16:30		
	開催場所	町立町民ホール「楽楽ホール」		
	開催内容	基調講演1 仁木宏氏（大阪市立大学教授） 「戦国・豊臣時代の大名と城下町」 基調講演2 齊藤利男氏（弘前大学名誉教授） 「南北朝・室町・戦国期の三戸南部氏」 アトラクション 南部七唄七踊り 南部町郷土芸能保存会 研究報告1 布施和洋（南部町教育委員会） 「三戸南部氏の城館変遷とその年代」 研究報告2 野田尚志氏（三戸町教育委員会） 「三戸城と城下の変遷」 研究報告3 柴田知二氏（二戸市教育委員会） 「信直段階の福岡城下」 研究報告4 榊原滋高氏（五所川原市教育委員会） 「北奥の『屋形』安藤氏の本拠十三湊と秋田湊の都市構造」 【シンポジウム】 「よみがえる戦国都市本三戸」 コーディネーター 齊藤利男氏（弘前大学名誉教授） パネリスト 仁木宏氏・野田尚志氏 柴田知二氏・榊原滋高氏 布施和洋		
		対象者	町民及び周辺市町村民（年齢問わず）	
		入場料	無料	
		参加者	360名	
		周知方法	町広報、ポスター掲示、新聞記事掲載	
		事業費	1,936千円（内 1,500千円が、むつ小川原地域・産業振興財団より助成）	
		成果	聖寿寺館跡を国内の第1線で活躍する研究者による新たな視点で評価してもらい、他地域の様相と比較することにより、南部氏と聖寿寺館跡に関する研究に進展があった。県内はもとより岩手県・秋田県・千葉県・東京都・福井県など全国各地から360名の参加者があり、南部藩発祥の地「南部町」のPRに一定の効果があった。初参加者が4割を占め、新規参加者の開拓に大きな成果があった。今回初めて南部家46代当主の利文氏を来賓としてお招きし、当研究会へのお墨付きを得るとともに、南部町とのパイプを作ることができた。	
評価と方向性	南部町や南部藩発祥の地としての歴史、史跡聖寿寺館跡や周辺の文化財、これらに関連する歴史企画への需要は高いものと考えられ、企画の仕方では十分に集客力が期待できる分野であることがわかった。アンケート集計の結果ほとんどの参加者が次回開催を希望しており、平成30年12月16日に第5回南部学研究会を開催する。南部学研究会の取り組みは平成30年9月5日実施の知事とのまるとトーク（県主催事業）に取上げられた。			

奥州街道の整備・活用・普及事業		事業の評価	○				
(2) 文化財の整備及び活用		総合評価	B				
概要	南部町には、江戸時代に定められた五街道のひとつである「奥州街道」が南北に縦断している。年1～2回程度、奥州街道の刈り払いを行い、管理・整備している。また、町の歴史を楽しく学ぶ奥州街道ウォークも実施し、活用・普及している。						
実績	<table><tr><td>奥州街道ウォーク</td><td>町内小学校3校 64名 (7/18 福田小学校、9/8 南部小学校・向小学校)</td></tr><tr><td>事業費</td><td>— 円</td></tr></table> ※手作りパンフレットの作成・設置			奥州街道ウォーク	町内小学校3校 64名 (7/18 福田小学校、9/8 南部小学校・向小学校)	事業費	— 円
奥州街道ウォーク	町内小学校3校 64名 (7/18 福田小学校、9/8 南部小学校・向小学校)						
事業費	— 円						
成果	奥州街道沿いには数多くの文化財があり、街道を歩いて町の歴史を楽しく学ぶことは、一般の方とはもとより児童にとっても新鮮に映ったようである。奥州街道の通行者や問い合わせは年間を通して一定量あり、今年度も手作りパンフレットを社会教育課、史跡聖寿寺館跡案内所に設置している。						
評価と方向性	奥州街道や奥州街道ウォークに対して一定のニーズがあることから、草刈り等の整備作業についても五戸町との連携を密にし、今後も事業を継続していく。						

史跡対策室関係 No.2 6

国指定重要文化財『南部利康霊屋』の保存管理・公開活用		事業の評価◎													
(1) 文化財の保護及び保存		総合評価B													
概要	南部利康霊屋の保存管理（除草・植木の手入れ・霊屋トイレの管理・修繕）南部利康霊屋の公開・活用する。 南部利康霊屋保存管理委員会への助成（町から430千円）拝観案内看板改定、敷地内禁煙看板修繕 霊屋門扉煽り止め設置する。														
実績	<table><tr><td rowspan="6">事業内容</td><td>通年</td><td rowspan="6">拝観業務 案内看板改定・禁煙看板修繕 霊屋駐車場トイレ修繕 霊屋門扉煽り止め設置 南部利康霊屋保存管理委員会会議 南部利直命日法要 南部利康命日法要 南部家墓所特別公開</td></tr><tr><td>4月</td></tr><tr><td>5月</td></tr><tr><td>7／10</td></tr><tr><td>8／18</td></tr><tr><td>10／21</td></tr><tr><td rowspan="2">見学者</td><td>1,342名（平成28年度646名から2倍以上に増加）</td></tr><tr><td>事業費</td><td>821千円（うち、430千円は保存管理委員会へ助成）</td></tr></table>			事業内容	通年	拝観業務 案内看板改定・禁煙看板修繕 霊屋駐車場トイレ修繕 霊屋門扉煽り止め設置 南部利康霊屋保存管理委員会会議 南部利直命日法要 南部利康命日法要 南部家墓所特別公開	4月	5月	7／10	8／18	10／21	見学者	1,342名（平成28年度646名から2倍以上に増加）	事業費	821千円（うち、430千円は保存管理委員会へ助成）
事業内容	通年	拝観業務 案内看板改定・禁煙看板修繕 霊屋駐車場トイレ修繕 霊屋門扉煽り止め設置 南部利康霊屋保存管理委員会会議 南部利直命日法要 南部利康命日法要 南部家墓所特別公開													
	4月														
	5月														
	7／10														
	8／18														
	10／21														
見学者	1,342名（平成28年度646名から2倍以上に増加）														
	事業費	821千円（うち、430千円は保存管理委員会へ助成）													
成果	史跡聖寿寺館跡案内所のオープンにより、拝観者が大幅に増加した。案内所のオープンにともない、拝観案内の看板の改定等の環境整備を実施した。平成29年度から保存管理委員会規約を改正し、聖寿寺地区の地元関係者を中心とした委員構成で運営している。														
評価と方向性	南部利康霊屋は貴重な国指定重要文化財であり、周辺環境も含めて保存管理・整備を継続していく必要がある。平成29年4月からは史跡聖寿寺館跡案内所の臨時職員が拝観業務を担当することとなったことから、年末年始を除いて拝観対応できるようになり、公開期間が拡充された。														

史跡聖寿寺館跡調査整備委員会		事業の評価 ◎
(2) 文化財の整備及び活用		総合評価 B
概要	『史跡聖寿寺館跡』を史跡公園化として整備するため、平成26年3月に策定した『史跡聖寿寺館跡整備基本計画書』に基づき、史跡聖寿寺館跡調査整備委員会を開催し、発掘調査の進め方や史跡公園化に向けた整備内容について検討を進める。	
実績	○ 史跡聖寿寺館跡調査整備委員会（委員 14名）	
	第9回会議 7/4（火）	平成29年度発掘調査進捗状況について 史跡聖寿寺館跡案内所の利用状況について 平成29年度整備事業について 史跡ガイド養成講座について 平成30年度整備事業について
	視察研修 7/4（火）	おいらせ町阿光坊古墳館視察研修 古墳館施設を見学した後、担当者より施設の整備、ボランティアガイドの運営について説明を受け、情報を収集した。
	第10回 会議 2/8（木）	平成29年度整備事業と今後の事業計画の変更について 平成29年度発掘調査成果について 平成30年度発掘調査事業計画について 史跡ガイド養成講座について
	事業費	407千円（町単費）
成果	平成31年度に発足予定の史跡ガイドについて情報を収集するため、先進地視察（おいらせ町阿光坊古墳館）を実施した。また平成29年度の発掘調査、整備内容について検討を進め、平成30年度の発掘調査予定区域を決定した。	
評価と方向性	平成29年11月の文化庁からの指導に基づき、これまでの発掘調査成果を踏まえて整備計画を見直すこととし、平成30・31年度は発掘調査に専念することとなった。平成32年度に整備基本設計を策定し、平成33年度より整備を再開する予定。	

史跡対策室関係 №28

史跡聖寿寺館跡土地公有化事業		事業の評価 ◎
(2) 文化財の整備及び活用		総合評価 B
概要	北東北最大の中世武士団であった南部氏の中心的城館である史跡聖寿寺館跡を保護保存し、史跡公園として整備するため、地権者の同意を得て聖寿寺館跡本体部分の土地を公有化する。	
実績	○ 公有化対象地 住所 南部町大字小向字館11 面積 4,685 m ² （1筆） ○ 事業費 46,033千円（国庫補助 36,820千円）	
成果	史跡聖寿寺館跡本体のうち、東側平場部分を公有化した。公有化した場所には通路跡が続く可能性があり、平成30年度に発掘調査を実施する。	
評価と方向性	平成17年度に文化庁・青森県教育委員会・南部町教育委員会の連名で刊行した『史跡聖寿寺館跡保存管理計画』に基づき、公有化を進めている。史跡公園として必要な部分を優先し、公有化していく必要がある。	

史跡聖寿寺館跡整備事業		事業の評価 ◎
(2) 文化財の整備及び活用		総合評価 B
概要	平成26年3月に策定した『史跡聖寿寺館跡整備基本計画』に基づき、平成32年度までに聖寿寺館跡を町民が親しみ、憩いの場となるような史跡公園として整備するものである。	
実績	○井戸跡の整備工事 1. 整備内容 平成22年に確認された大型井戸跡の平面表示と説明看板の設置を実施した。 2. 事業費 5,237千円(国庫補助 2,370千円) 3. 内 訳 委託料 井戸跡平面表示工事設計監理業務 302千円 工事請負費 井戸跡説明板等設置工事 596千円 井戸跡平面表示工事 4,339千円 ○史跡聖寿寺館跡PR動画の製作 1. 整備内容 聖寿寺館跡を紹介する『甦る戦国大名南部氏の居城』と題した動画製作 2. 事業費 702千円(委託料) 3. 製作 八戸空撮 4. 監 修 弘前大学名誉教授齊藤利男氏・南部町教育委員会 ○史跡ガイド養成講座の開催 1. 募集期間 平成29年 2. 応募者 15名(南部町・八戸市・三戸町・五戸町・七戸町在住) 3. 養成講座 第1回講座 10月 史跡聖寿寺館跡の概要説明 第2回講座 11月 聖寿寺館跡とその周辺文化財の説明 第3回講座 2月 弘前大学名誉教授 齊藤利男氏による演習形式 4. 事業費 14千円(講師謝礼)	
成果	○井戸跡の整備工事 平成29年度は大型井戸跡の遺構平面表示と説明看板の整備を実施した。 ○史跡聖寿寺館跡PR動画の製作 整備事業としてははじめて聖寿寺館跡のPR動画を製作し、動画は史跡聖寿寺館跡案内所や動画サイトYouTubeで公開し1000回以上の視聴があった。 ○史跡ガイド養成講座の開催 史跡聖寿寺館跡について分かりやすく案内・解説してもらう人材を育成するため、史跡ガイド養成講座の参加者を9月から募集し、15名の応募があった。平成29年度は史跡ガイド養成講座を10月・11月・2月の合計3回開催した。	
評価と方向性	○整備工事について 平成29年11月の文化庁からの指導に基づき、整備計画を見直すため平成30・31年度の整備は中断し、発掘調査に専念することとなった。平成32年度に整備基本設計を策定し、平成33年度より整備を再開する予定。 ○史跡聖寿寺館跡PR動画について PR動画は案内所展示室はもとより、平成南部藩の首長会議や団体見学、知事とのまらごとトークなどで公開されている。史跡について基本的な情報を発信する良いコンテンツとなっている。 ○史跡ガイドについて 史跡ガイド養成講座は平成30年度も継続して開催し、平成31年4月のガイド発足を目指す。史跡聖寿寺館跡案内所を拠点としてガイドにあたる予定。	

史跡聖寿寺館跡の発掘調査		事業の評価	◎
(2) 文化財の整備及び活用		総合評価	A
概要	○ 聖寿寺館跡発掘調査 ・発掘調査期間 5/8～11/30 遺物整理期間 12/1～3/23 - 調査面積 1,681.43㎡ ・調査地点 大型建物跡を確認した前年度調査区の東側・北側隣接地、虎口2を調査 ・調査原因 平成26年3月策定の史跡聖寿寺館跡整備基本計画書に基づき、史跡公園として整備するための情報収集を目的とする。 ○ 相内館跡発掘調査 ・発掘調査期間 4/17～4/28 遺物整理期間 12/1～3/23 - 調査面積 110.81㎡ ・調査地点 神明宮裏の私有地 調査原因 個人住宅建設に伴う発掘調査		
実績	○ 聖寿寺館跡の調査成果 ・遺構としては東北最大規模の大型掘立柱建物跡（建物B）が東側にさらに4間分（約8m）拡大することが明らかとなった。 ・また、根石を伴う大型の柱穴から構成される掘立柱建物跡（建物F）が二階建て若しくは宗教施設として考えられる旨が指摘された。 ・聖寿寺館跡では初となる側溝を伴う通路跡、虎口2の土橋や木橋の橋脚などが確認された。 ・遺物としては本州初となる中世アイヌ文化の刻印が施された陶磁器が出土し、他のアイヌ関連遺物の出土傾向と合わせて聖寿寺館に和人とアイヌが混在していた可能性が高まった。 ・また、向小学校の体験発掘中に戦国期の城館としては全国で初めてとなる、約150万年前に絶滅した巨大ザメ（カルカロドンメガロドン）の歯の化石が出土した。 ○ 相内館跡の調査成果 ・相内館跡の調査を30年ぶりに実施し、初めて堀跡を確認した。出土遺物から16世紀中頃に埋め戻されたものと考えられる。 ○ 事業費 12,298千円（国庫補助 6,144千円）		
成果	本州初となる中世アイヌ文化の刻印や絶滅した巨大ザメの歯の化石など、全国的にも貴重な遺物が相次いで出土したことから、平成29年度は4回の記者会見を開催し、その成果は新聞各紙やテレビのニュースで報道された。平成30年3月には平成28・29年度の2カ年分の調査成果をまとめた発掘調査報告書を300部刊行し、全国の図書館等関係各機関に配布した。		
評価と方向性	東北最大規模の大型建物跡の東側延長部分や新たな二階建ての可能性のある大型建物跡など、聖寿寺館中心区画の様子が徐々に明らかになりつつある。平成30年度の調査では大型掘立柱建物群の東側・南側に調査区を延長し、中心区画の範囲や付属施設の確認を試みる。また通路跡の延長部分と思われる地点を調査し、中心区画への導入路を探る。		

史跡聖寿寺館跡の活用（見学・体験発掘・出前授業）		事業の評価	◎																										
（2）文化財の整備及び活用		総合評価	B																										
概要	史跡聖寿寺館跡の見学や体験発掘を通して、町の歴史を児童・生徒に現地で実際に体感してもらう体験型の学習プログラム。各学校での出前授業では、職員が講師となって、スライドを交えながら町の歴史を解説する。																												
実績	○ 体験発掘 小学校7校 参加者数143名																												
	<table><tr><th>実施日</th><th>実 施 内 容</th><th>参加者</th></tr><tr><td>5／24</td><td>福田小学校</td><td>24名</td></tr><tr><td>6／5</td><td>剣吉小学校</td><td>27名</td></tr><tr><td>6／13</td><td>名久井小学校</td><td>25名</td></tr><tr><td>7／6</td><td>向小学校・南部小学校</td><td>39名</td></tr><tr><td>7／11</td><td>福地小学校</td><td>14名</td></tr><tr><td>7／14</td><td>田子町立上郷小学校</td><td>14名</td></tr></table>			実施日	実 施 内 容	参加者	5／24	福田小学校	24名	6／5	剣吉小学校	27名	6／13	名久井小学校	25名	7／6	向小学校・南部小学校	39名	7／11	福地小学校	14名	7／14	田子町立上郷小学校	14名					
	実施日	実 施 内 容	参加者																										
	5／24	福田小学校	24名																										
	6／5	剣吉小学校	27名																										
	6／13	名久井小学校	25名																										
	7／6	向小学校・南部小学校	39名																										
	7／11	福地小学校	14名																										
	7／14	田子町立上郷小学校	14名																										
	○団体見学 参加者数961名																												
○出前授業・講演会 参加者 538名																													
<table><tr><th>実施日</th><th>実 施 内 容</th><th>参加者</th></tr><tr><td>5／11</td><td>向小学校出前授業</td><td>23名</td></tr><tr><td>6／30</td><td>南部小学校出前授業</td><td>14名</td></tr><tr><td>7／18</td><td>まべち笑学校出前授業</td><td>20名</td></tr><tr><td>9／14</td><td>三戸ロータリークラブ講演</td><td>10名</td></tr><tr><td>10／19</td><td>福地小学校出前授業</td><td>11名</td></tr><tr><td>10／30</td><td>八戸圏域連携中枢都市圏講演</td><td>120名</td></tr><tr><td>11／12</td><td>岩手県立博物館企画展連携企画 講演</td><td>140名</td></tr><tr><td>11／17</td><td>南部町社会福祉大会シンポジウム</td><td>200名</td></tr></table>			実施日	実 施 内 容	参加者	5／11	向小学校出前授業	23名	6／30	南部小学校出前授業	14名	7／18	まべち笑学校出前授業	20名	9／14	三戸ロータリークラブ講演	10名	10／19	福地小学校出前授業	11名	10／30	八戸圏域連携中枢都市圏講演	120名	11／12	岩手県立博物館企画展連携企画 講演	140名	11／17	南部町社会福祉大会シンポジウム	200名
実施日	実 施 内 容	参加者																											
5／11	向小学校出前授業	23名																											
6／30	南部小学校出前授業	14名																											
7／18	まべち笑学校出前授業	20名																											
9／14	三戸ロータリークラブ講演	10名																											
10／19	福地小学校出前授業	11名																											
10／30	八戸圏域連携中枢都市圏講演	120名																											
11／12	岩手県立博物館企画展連携企画 講演	140名																											
11／17	南部町社会福祉大会シンポジウム	200名																											
																													
成果	町内外の小学生が体験発掘や出前授業をとおして南部氏歴史を体感していた。学校からは継続して出前授業や体験発掘のニーズがあり、郷土の歴史学習に効果をあげている。史跡聖寿寺館跡案内所がオープンし、町内外の各種団体の見学、交通各社のツアー客の見学者が大幅に増加した。																												
評価と方向性	地元の歴史や文化を学ぶことは必要不可欠であり、今後も町内の学校と連携し、児童・生徒に郷土の歴史を学ぶ機会・体験する機会を提供し、郷土に誇りをもてるような郷土史学習プログラムを推進していきたい。																												



史跡聖寿寺館跡案内所の運営・管理		事業の評価	◎
(2) 文化財の整備及び活用		総合評価	A
概要	史跡聖寿寺館跡案内所の管理・運営。展示解説。史跡聖寿寺館跡の案内。臨時職員を2名配置する。		
実績	○見学者 2, 428名 ○事業費 案内所管理運営4, 178千円（賃金、消耗品、光熱水費、通信料、各種委託料、備品購入費） 向鶴銅製品等レプリカ製作 483千円 ※展示していた遺物全てが岩手県立博物館の平成29年度秋季特別企画展に貸し出されることとなったため、展示替えを行った。また、昨年度報道発表した遺物をその都度展示し、集客を図った。		
成果	平成28年度に建設した史跡聖寿寺館跡案内所を平成29年4月にオープンさせた。 展示パネルを製作し、展示室に設置した（監修 弘前大学名誉教授 齊藤利男氏）。また、業者と交渉し、施設屋外には南部家の家紋である向鶴がデザインされた自動販売機を設置してもらった。 町指定文化財の最古の向鶴銅製品や金箔土器など貴重遺物のレプリカを製作し展示している。 県内はもとより、東北各県から関東、近畿、四国地方から見学者があった。		
評価と方向性	平成29年度がはじめての施設運営の年となり、試行錯誤を重ねながら管理・運営にあたった。 史跡聖寿寺館跡の情報発信・観光拠点としての役割が期待される。		

史跡対策室関係 No.3 3

伝統芸能・技術の継承事業		事業の評価	○
(3) 伝統芸能及び技術の継承		総合評価	A
概要	郷土に根ざして継承されてきた芸能を保護し、さらに後世に引き継ぐために後継者の育成に努める団体にに対し助成する。		
実績		実 施 内 容	事業費
	助成団体	南部町郷土芸能保存会	370千円
		無形民俗文化財保存・活用事業（13団体）	260千円
		無形民俗文化財後継者育成事業（9団体）	180千円
		郷土芸能後継者育成事業（南部七唄七踊り子ども教室）	450千円
	○ 第2・第4土曜日に町内公民館で南部七唄・七踊り子ども教室を実施 町郷土芸能保存会の会員が講師で指導（町内の小・中学生が参加） ○ 毎年2月の南部地方えんぶりに補助金を交付 230千円		
成果	町指定の無形民俗文化財の継承活動のために有効に活用され、後継者の育成に役立っている。		
評価と方向性	伝統芸能の保存と次世代への継承には必要不可欠な事業であり、南部町郷土芸能保存会や郷土芸能の後継者から事業の継続の要望が寄せられており、町指定無形民俗文化財に3組のえんぶり組（片岸、玉掛、大向）が増えたことにより、今後は増額し、継続して助成していくこととする。		

趣味の教室		事業の評価	◎								
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	A								
概要	自己の知識・能力の向上を図ることを目的に、町民が興味・関心のある教室を開講する。										
実績	○ 町民の希望による教室 27講座 生け花、エアロビクス、カラオケ、女声コーラス、混声コーラス、フラダンス シルバーコーラス、南部詩吟、社交ダンス、写真・絵画、太極拳、陶芸、ヨガ、南部手踊り パソコン、舞踊、フレッシュレクダンス、パッチワーク、リフレッシュ体操 名川カラオケ研究、ブックトーク、スポーツダンス、スポーツ吹矢、合気道、紙芝居 まべち会詩吟、ヘルスアップ										
	<table><tr><td>登録者数</td><td>373名</td></tr><tr><td>開催期間</td><td>5月～2月（月2回以上開催）</td></tr><tr><td>開催場所</td><td>町内公民館、体育館、B&G 海洋センター、伝承館等</td></tr><tr><td>事業費</td><td>2,520千円（講師謝金）</td></tr></table>			登録者数	373名	開催期間	5月～2月（月2回以上開催）	開催場所	町内公民館、体育館、B&G 海洋センター、伝承館等	事業費	2,520千円（講師謝金）
	登録者数	373名									
	開催期間	5月～2月（月2回以上開催）									
	開催場所	町内公民館、体育館、B&G 海洋センター、伝承館等									
事業費	2,520千円（講師謝金）										
成果	受講者のニーズに沿った教室であり、学習環境もよく生きがいをもって学習している。受講生による実行委員会が組織され、3月には学習成果を披露する発表会を行った。										
評価と方向性	閉講式の際に次年度の受講希望をとっているが、ほとんどの教室が継続希望であるため、継続が望まれる。 また、ステージ発表ができない教室は、展示発表など工夫して発表会を行っていく。										

社会教育課関係（公民館）No.35

アロマフィットネス教室		事業の評価	○
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B
概要	アロマセラピーのリラックス&リフレッシュ効果と、簡単にできるエクササイズを結びつけた運動をとおして、健康維持の一助となるよう開催する。		
実績	○ アロマフィットネスに関する講義と演習		
	登録者数	14名	
	参加者数	延べ112名	
	開催回数	10回（8／23～10／25）	
	開催場所	福地公民館	
	事業費	100千円(講師謝金)	
成果	ストレッチを含む運動と原産地や効用・注意点など香りについて講義を受け、楽しみながら学習ができた。また、アロマの利点は体と心に対する健康作用だけでなく、シンプルな運動に楽しさと潤いを与えてくれた。		
評価と方向性	アロマセラピーの知識を学びながら同時に身体も鍛えていくことができ、さらには生活の質も向上させるため、生涯にわたって続けられるという効果が期待できる。 アロマについて学び、香りを楽しみ、運動をして健康づくりができるということで、健康管理に対する意識を高めることができるため次年度以降も継続が望まれる。		

英会話教室（初級）		事業の評価	○
（３）多様な学習機会の拡充		総合評価	B
概要	高校生以上の町民を対象に、国際人としての資質の向上を図るため、英語に親しみ、英語での簡単な日常会話ができるように開催する。		
実績	○ 英会話に関する講義と演習		
	登録者数	20名	
	参加者数	延べ177名	
	開催回数	12回（9／2～12／2）	
	開催場所	福地公民館	
	事業費	204千円(講師謝金)	
成果	受講生間に理解度の差が見られたが、全体的には明るい雰囲気の中で受講していた。参加者の学習態度は極めて意欲的で、外国人講師による本物の英語を学ぶ良い機会となった。		
評価と方向性	テーマに沿った学習方法や内容は充実しており、参加者からは継続を望む声があるため、継続が望まれる。		

社会教育課関係（公民館）No.3 7

ルーシーダットン教室		事業の評価	○
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B
概要	ルーシーダットン（タイ式ヨガ）の特徴である呼吸法を実践しながら様々なポーズを学び、体全体の血液やリンパの流れをスムーズにし、健康維持の一助となるよう開催する。		
実績	○ ルーシーダットンに関する講義と実習		
	登録者数	24名	
	参加者数	延べ171名	
	開催回数	10回（6／5～8／21）	
	開催場所	福地公民館	
	事業費	100千円(講師謝金)	
成果	独自の呼吸法とポーズをあわせることで血流が良くなり、あらゆる体調不良が改善され、他にも体の歪みを治す、筋力アップ、柔軟性向上、代謝アップによるダイエット効果が得られるなど、健康の維持管理に対する意識が高められた。		
評価と方向性	「本来あるべき状態に戻す」ことを目的としているので、ポーズは優しいものが多く、柔軟性や筋力に自信がない方も安全に楽しめる教室である。精神面の安定方法や健康であるための自己治癒力を身につけ、健康管理に対する意識が高められるため次年度以降も継続が望まれる。		

第11回 町民運動会		事業の評価 ◎									
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価 B									
概要	町民の健康増進と町民相互の親睦を深め健康で明るく住みよい町づくりに寄与し、明日への活力を養うことを目的に開催。 15競技種目に、小学生から60歳以上の競技種目において地区対抗戦として実施。										
実績	<table><tr><td>参加者数</td><td>18チーム（役員及び選手数1,800名）</td></tr><tr><td>開催日</td><td>10月1日</td></tr><tr><td>開催場所</td><td>南部中学校</td></tr><tr><td>事業費</td><td>1,334千円</td></tr></table>			参加者数	18チーム（役員及び選手数1,800名）	開催日	10月1日	開催場所	南部中学校	事業費	1,334千円
参加者数	18チーム（役員及び選手数1,800名）										
開催日	10月1日										
開催場所	南部中学校										
事業費	1,334千円										
成果	全町内18チームの参加を得て行われており、町民相互の融和と年代各層の親睦と交流が図られた。競技は、15種目で、今年で11回目となり、競技種目の内容が、浸透された運動会となった。										
評価と方向性	全町民が一堂に会して実施されるビックイベントであり、今後も町民の意見を参考に改善を図っていく。また、各チームで競技用具を購入し練習をしているチームもあり運動会が浸透されてきている。										

社会教育課関係（体育館）No.39

第12回 町民歩け歩け運動大会		事業の評価	◎										
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B										
概要	町民の体力つくりと参加者相互の親睦を深めるとともに、日常生活の中で歩くことの重要性を再認識することで、健康で明るい町づくりに寄与することを目的に毎年度開催。 今年は、青森県鶴田町 鶴の舞橋散策で募集し、行政バス4台にて実施場所へ移動、設定した目標地点まで全参加者でトレッキングする。												
実績	<table><tr><td>対 象 者</td><td>南部町民（高校生以上）</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>114名</td></tr><tr><td>実 施 日</td><td>7月2日</td></tr><tr><td>実施場所</td><td>鶴田町 鶴の舞橋</td></tr><tr><td>事 業 費</td><td>106千円（保険等）</td></tr></table>			対 象 者	南部町民（高校生以上）	参加者数	114名	実 施 日	7月2日	実施場所	鶴田町 鶴の舞橋	事 業 費	106千円（保険等）
対 象 者	南部町民（高校生以上）												
参加者数	114名												
実 施 日	7月2日												
実施場所	鶴田町 鶴の舞橋												
事 業 費	106千円（保険等）												
成果	この事業は、「町民が歩くことを日常化することで、健康維持・増進につなげる目的で行っており」この事業に参加するため、早朝ウォーキングを取り入れた方もいることから、事業の成果と考えている。 また、毎年参加している方々は、初めて参加する方に声かけ誘導をする姿も見られるなど、参加者相互の親睦を深めることができた。												
評価と方向性	今年は天候に恵まれ、暑さでバテる参加者もいた。参加者の意見を参考に、新たなコースを計画するなど、目的達成のため事業展開を図っていく。 歩くことは手軽な運動であり、町民の体力づくり、健康の維持・増進に必要と考えられることから、今後、歩く事が日常化となるよう多くの参加者を募集し、実施して行きたいと考えている。												

第7回総合優勝制スポーツ大会			事業の評価◎		
(4) 多様な生涯スポーツの振興			総合評価B		
概要	6競技種目別における町内対抗スポーツ大会。 結果発表及び表彰式は、町民運動会で行う。				
実績	○ 対象者 一般成人による町民運動会チーム単位の18チームが参加対象 (バウンドテニス大会から始まり、ペタンク大会で終了する。)				
	○ 事業費 80千円 (謝礼)				
	種目	開催日	開催場所	参 加 チー ム	優勝 チー ム
	1.バウンドテニス大会	平成28年12月4日	名川B&G海洋センター	13	東
	2.軟式バレーボール大会	平成29年1月29日	町民体育館	男子13 女子14	男:大向 女: 東
	3.ユニホック大会	平成29年2月26日	町民体育館	14	杉沢
	4.グラウンドゴルフ大会	平成29年5月21日	ふるさと運動公園	15	あかね
	5.壮年ソフトボール大会	平成29年6月25日	南部中学校 他	12	あかね
	6.ペタンク大会	平成29年7月9日	すぱーく・ながわ	15	剣吉・森越
	○対象期間 平成28年12月～平成29年7月				
○結 果 優 勝 あかね チーム 準優勝 沖 通 チーム 第3位 杉 沢 チーム					
成果	町民運動会で、表彰を行うことによって、各地域に浸透し、大会が近くなると、自主的に練習するチームが増えている。 勝負の試合のため、個々の競技力の向上がみられる。				
評価と方向性	今後は、更に意識の向上を高め大会を盛り上げるとともに、体育協会加盟団体と連携を密にし、種目等の競技見直しを図りながら、全チームが参加するように努める。				

ニュースポーツ in スクール		事業の評価	○		
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A		
概要	青少年のスポーツ活動の充実とスポーツの普及を図るため、町内の小・中学校のクラブ活動に応じてニュースポーツ i n スクール教室を実施する。				
実績	対 象 者	町内小・中学生			
	講 師	スポーツ指導員			
	依 頼 者	名久井小学校、向小学校の4年生から6年生（クラブ活動の一環としてのニュースポーツ in スクールである）			
	参加者数	延べ235名（名久井小ニュースポーツクラブ14名） （向小ニュースポーツクラブ13名）			
	状 況	学校名	競 技 名	実 施 日	回 数
		名 久 井 小 学 校	バウンドテニス	5／25～7／20	4回
			ユニホック	8／24～11／9	5回
			ドッチビー	11／30～2／15	5回
		向小学校	吹矢	1／22	1回
			吹矢 カローリング	2／5	1回
カローリング	2／22		1回		
開催場所	名川 B&G 海洋センターアリーナ（名久井小学校ニュースポーツクラブ） 向小学校体育館（向小ニュースポーツクラブ）				
事 業 費	67千円（講師謝礼）				
成果	名久井小学校及び向小学校の4年生から6年生が加入する「ニュースポーツクラブ」からの要望があり、ニュースポーツ i n スクールを行っている。 3種目（吹矢、カローリング、ユニホック）のニュースポーツは、小学生に人気があり好評を得ている。このことが「移動教室」の依頼につながっている。				
評価と方向性	「ニュースポーツ i n スクール」は、誰でも気軽に参加できることから、町内小・中学校の児童生徒には効果的な事業と考える。 今後は他の小・中学校が利用できるよう別の種目等も含め、積極的な広報活動を行っていく。				

ニュースポーツ移動教室		事業の評価	◎																																																								
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A																																																								
概要	ニュースポーツの普及を通して町民の健康維持・増進を図ることを目的に、町内の各種団体からの要望に応じ、その会場に出向きニュースポーツの実技指導を行う。																																																										
実績	○ 対 象 者 町内各種団体 ○ 参加者数 838名 ○ 講 師 スポーツ推進委員、スポーツ指導員 ○ 事 業 費 96千円（講師謝礼） ○ 事業内容																																																										
	<table><tr><th>依頼者</th><th>開催日</th><th>場所</th><th>種目</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>南部小学校1年生PTA （親子レクリエーション）</td><td>6／10</td><td>南部小体育館</td><td>ドッチビー</td><td>50名</td></tr><tr><td>名久井学校3年生PTA （親子レクリエーション）</td><td>7／2</td><td>名小体育館</td><td>ユニホック</td><td>55名</td></tr><tr><td>剣吉小学校5.年生PTA （親子レクリエーション）</td><td>7／8</td><td>剣小体育館</td><td>吹矢 カローリング</td><td>45名</td></tr><tr><td>向小学校3年生PTA （親子レクリエーション）</td><td>7／8</td><td>向小体育館</td><td>ドッチビー</td><td>50名</td></tr><tr><td>向小学校4年生PTA （親子レクリエーション）</td><td>7／9</td><td>町民体育館</td><td>吹矢 カローリング</td><td>50名</td></tr><tr><td>名川中学校3年生PTA （親子レクリエーション）</td><td>8／19</td><td>名中体育館</td><td>バドミントン 軟式バレー</td><td>40名</td></tr><tr><td>南部中学校3年生PTA （親子レクリエーション）</td><td>8／27</td><td>町民体育館</td><td>ドッチビー</td><td>120名</td></tr><tr><td>剣吉小学校2年生PTA （親子レクリエーション）</td><td>9／23</td><td>名川B&G海洋センター</td><td>ドッチビー</td><td>58名</td></tr><tr><td>南部町子ども会育成連絡協議会</td><td>10／29</td><td>町民体育館</td><td>軟式バレー</td><td>320名</td></tr><tr><td>南部小中連携研修会</td><td>12／1</td><td>向小体育館</td><td>ドッチビー 吹矢</td><td>50名</td></tr></table>				依頼者	開催日	場所	種目	参加者数	南部小学校1年生PTA （親子レクリエーション）	6／10	南部小体育館	ドッチビー	50名	名久井学校3年生PTA （親子レクリエーション）	7／2	名小体育館	ユニホック	55名	剣吉小学校5.年生PTA （親子レクリエーション）	7／8	剣小体育館	吹矢 カローリング	45名	向小学校3年生PTA （親子レクリエーション）	7／8	向小体育館	ドッチビー	50名	向小学校4年生PTA （親子レクリエーション）	7／9	町民体育館	吹矢 カローリング	50名	名川中学校3年生PTA （親子レクリエーション）	8／19	名中体育館	バドミントン 軟式バレー	40名	南部中学校3年生PTA （親子レクリエーション）	8／27	町民体育館	ドッチビー	120名	剣吉小学校2年生PTA （親子レクリエーション）	9／23	名川B&G海洋センター	ドッチビー	58名	南部町子ども会育成連絡協議会	10／29	町民体育館	軟式バレー	320名	南部小中連携研修会	12／1	向小体育館	ドッチビー 吹矢	50名
	依頼者	開催日	場所	種目	参加者数																																																						
	南部小学校1年生PTA （親子レクリエーション）	6／10	南部小体育館	ドッチビー	50名																																																						
	名久井学校3年生PTA （親子レクリエーション）	7／2	名小体育館	ユニホック	55名																																																						
	剣吉小学校5.年生PTA （親子レクリエーション）	7／8	剣小体育館	吹矢 カローリング	45名																																																						
	向小学校3年生PTA （親子レクリエーション）	7／8	向小体育館	ドッチビー	50名																																																						
	向小学校4年生PTA （親子レクリエーション）	7／9	町民体育館	吹矢 カローリング	50名																																																						
	名川中学校3年生PTA （親子レクリエーション）	8／19	名中体育館	バドミントン 軟式バレー	40名																																																						
	南部中学校3年生PTA （親子レクリエーション）	8／27	町民体育館	ドッチビー	120名																																																						
	剣吉小学校2年生PTA （親子レクリエーション）	9／23	名川B&G海洋センター	ドッチビー	58名																																																						
	南部町子ども会育成連絡協議会	10／29	町民体育館	軟式バレー	320名																																																						
南部小中連携研修会	12／1	向小体育館	ドッチビー 吹矢	50名																																																							
成果	ニュースポーツの普及促進のため、指導者が出向き、ニュースポーツを体験できるので利用者には好評である。 内容は、団体等の要望に沿って実施しており、特に、学校における「親子レクリエーション」に活用されている。また、前年度より、教室の要望回数や参加人員が増加となり、多くの参加者に実技指導ができた。																																																										
評価と方向性	ニュースポーツ移動教室の要望数や参加者は増加傾向にある。 今年から、新しい種目「吹矢」の要望があり実施したが、指導者（スポーツ推進委員・スポーツ指導員）の育成が急務である。 南部町体育協会と連携を図り、町民のニーズにあった種目を行えるよう努める。																																																										

転倒・寝たきり予防教室		事業の評価◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価A
概要	町内3地区を会場に、介護サービスを受けていない高齢者を対象とした転倒予防プログラム及び各種測定を実施した。高齢者の介護予防にもつながることから健康福祉課と共催している。	
実績	対象者	介護サービスを受けていない60歳以上の町民
	参加者数	南部地区：24名（延べ163名） 福地地区：33名（延べ221名） 名川地区：38名（延べ326名）
	開催回数	合計36回（12回／1地区）
	開催期間 及び 会場	【第1回】平成29年5月～7月 会場：南部公民館（南部地区） 【第2回】平成29年9月～11月 会場：福寿館（福地地区） 【第3回】平成30年1月～3月 会場：名川B&G海洋センター（名川地区）
	事業内容	介護予防運動、歩行指導、筋力トレーニング、ストレッチング、リズム体操、レクリエーション、ニュースポーツ（グラウンドゴルフ、カローリング）、各種講話（保健・栄養指導等）、骨密度・筋肉量計測
	講師	運動指導士2名、保健師3名、栄養士1名 計6名
	事業費	155千円（講師謝礼、保険料）
	成果	年間の運動指導を希望する参加者が増加し、より多くの高齢者に対し長期にわたる運動や、健康に関する学習の機会を提供し、また、参加者のコミュニティの場となった。講師に、筋力トレーニングについて積極的に質問し、参加者の介護予防運動に対しての意識向上につながった。
評価と方向性	広報による全町への周知により、多くの参加募集があり、また参加者の口コミや友人知人等への紹介・勧誘もあり、大変好評を頂いている。 前年の教室では行っていない介護予防運動の導入や、ニュースポーツを取り入れる等、新たな内容を加えながら、事業内容を充実させていきたい。	

水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム		事業の評価 ○	
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価 B	
概要	夏に偏りがちな「水」に親しむ体験活動を、年間を通じて体験できるよう、自然環境、水生生物、安全学習、海洋性レクリエーション等のテーマから、導入校ごとにプログラムを選択し実施する。		
実績	対象者数	福田小学校：4学年 20名 名久井小学校：4学年 29名 名川南小学校：1・2学年 7名 3・4学年 10名 5・6学年 14名 南部小学校：4学年 14名	
	開催回数	福田小学校：3回 名久井小学校：6回 名川南小学校：6回 南部小学校：3回	
	開催期間	平成29年4月～平成30年3月	
	開催場所	・福田小学校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川B＆G海洋センタープール ・名久井小学校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川B＆G海洋センタープール、名久井小学校 ・名川南小学校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川 B&G 海洋センタープール ・南部小学校 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川B＆G海洋センタープール	
	事業内容	さけ稚魚放流体験、さけ採卵体験、水棲生物採取、水辺の安全教室（カヌー体験、OPヨット体験、着衣泳、ライフジャケット浮遊体験、他）	
	事業費	0円	
	成果	身近にある川や山といった屋外での体験的学習を通して環境保全意識の向上が図られた。グループごとに役割を持ちながら与えられた課題を達成していく中で、社会性が育まれるとともに、身近な環境について興味を抱くことで郷土への愛情を高めることができた。	
評価と方向性	現時点で、町内4校が当事業を導入しているが、他の小学校にも導入可能な体制を検討する余地がある。各プログラムにおいて、参加児童の学習意欲は非常に高く、積極性の向上にもつながっているため、今後も改善を図りつつ事業を継続していく。		

B＆G全国ジュニア水泳競技大会出場推進事業				事業の評価														
(4) 多様な生涯スポーツの振興				総合評価														
概要	全国の B＆G 海洋センターにて日頃から水泳を練習している青少年を対象に、競技力の向上と参加者相互の連携と親睦を図ることを目的に開催される大会へ、青森県予選大会にてB＆G財団が定める標準記録を突破した当町代表選手1名を参加させた。当町海洋センター職員1名が選手に帯同し、青森県連絡協議会チームの一員として従事。																	
実績	○ 開催日及び会場 8月19日 東京辰巳国際水泳場 ○ 事業費 65千円 (参加者補助金20千円 引率職員旅費45千円) ○ 結果 自由形50m 7位 <table><tr><td rowspan="3">参加状況</td><td>学校名</td><td>学年</td><td>性別</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>名川中学校</td><td>1</td><td>男</td><td>1名</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>1名</td></tr></table>					参加状況	学校名	学年	性別	参加人数	名川中学校	1	男	1名	合 計			1名
参加状況	学校名	学年	性別	参加人数														
	名川中学校	1	男	1名														
	合 計			1名														
成果	全国の選手と競技・交流することで、水泳競技の楽しさを再認識するとともに、技術力向上に対する意欲の向上が図られた。 また、全国大会出場が広報で周知され、水泳競技の普及・振興の一助となった。																	
評価と方向性	「スイマーの聖地」といわれる東京辰巳国際水泳場で、全国の選手と競技・交流する貴重な機会であるため、今後も継続して選手を参加させていく。																	

社会教育課関係 (B & G) No.4 6

B＆Gスポーツ大会青森県大会推進事業		事業の評価		○	
(４) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価		B	
概要	B＆G財団地域海洋センター青森県連絡協議会が主催する水泳大会に、町内児童生徒１５名を参加させた。当町海洋センター職員３名が選手を引率するとともに、大会当日はスタッフとして従事。				
実績	○ 開催日及び会場	8月１日 五所川原金木B＆G海洋センタープール			
	○ 事業費	4千円（有料道路通行料）			
	○ 結 果	5種目入賞（うち優勝 個人２種目 リレー２種目）			
	参加状況	学校名	学年	性別	参加人数
		福地小学校	5	男	1名
		福田小学校	5	女	1名
		杉沢小学校	6	男	1名
		南部小学校	5・6	女	2名
		向小学校	5・6	男	2名
			6	女	1名
		福地中学校	2	男	1名
		杉沢中学校	3	男	1名
		南部中学校	2	女	2名
名川中学校		1・3	男	3名	
合 計			15名		
成果	他市町村の選手と競い合いながら日々の練習の成果を発揮する機会となり、参加者自身の水泳競技を継続するうえでの自信となった。				
評価と方向性	他市町村の選手と競技・交流する貴重な機会であるため、今後も継続して選手を参加させていく。				

小学校水泳教室		事業の評価	◎																																
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A																																
概要	水や水泳をよく理解し、水泳に対する興味を持ってもらうとともに、泳力の向上を図るために、町内小学校から授業での水泳指導依頼があった場合に、B&G海洋センター職員が指導・助言などを行う。																																		
実績	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">対 象 者</td><td>名川南小学校</td><td>5～6年生</td><td>14名</td></tr> <tr> <td>名久井小学校</td><td>3～6年生</td><td>104名</td></tr> <tr> <td>剣吉小学校</td><td>3～6年生</td><td>80名</td></tr> <tr> <td rowspan="3">開催回数</td><td>名川南小学校</td><td>全11回</td><td></td></tr> <tr> <td>名久井小学校</td><td>全15回</td><td></td></tr> <tr> <td>剣吉小学校</td><td>全6回</td><td></td></tr> <tr> <td>開催期間</td><td colspan="3">6月～8月</td></tr> <tr> <td>開催場所</td><td colspan="3">名川B&G海洋センタープール</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td colspan="3">0円</td></tr> </table>			対 象 者	名川南小学校	5～6年生	14名	名久井小学校	3～6年生	104名	剣吉小学校	3～6年生	80名	開催回数	名川南小学校	全11回		名久井小学校	全15回		剣吉小学校	全6回		開催期間	6月～8月			開催場所	名川B&G海洋センタープール			事業費	0円		
対 象 者	名川南小学校	5～6年生	14名																																
	名久井小学校	3～6年生	104名																																
	剣吉小学校	3～6年生	80名																																
開催回数	名川南小学校	全11回																																	
	名久井小学校	全15回																																	
	剣吉小学校	全6回																																	
開催期間	6月～8月																																		
開催場所	名川B&G海洋センタープール																																		
事業費	0円																																		
成果	参加校の教諭と連携し、児童の泳力に応じて楽しめるような指導を行い、中高学年においてはクロールの息継ぎ習得やフォーム修正をすることができた。																																		
評価と方向性	平成29年度は、名川地区3校からの指導依頼であったが、全町内の小学校に広めるため、今後も当該事業の周知を図り、水泳指導の依頼があった際には、各校担当教諭と連携し、安全で楽しい水泳指導をとおして泳力の向上に努めていく。																																		

第4回南部町駅伝競走大会		事業の評価	◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A
概要	1本のたすきを繋ぐことにより仲間との絆を深め、また、選手と応援する人の一体感、元気、感動を生み出し、地域の活性化を図る。		
実績	参 加 チ ャーム	○ 町内小学校 23チーム 向小3、名久井小6、南部小2、福田小5、剣吉小2、福地小2 名川南小1、岩手県山田町小学生チーム2（招待） ○ 三戸郡中学校 13チーム 名川中3、福地中2、南部中 2、田子中2、五戸中3、 新郷村連合中1 ○ 町内クラブ・地域対抗 6チーム 合計 42チーム	
	開 催 日	11月5日	
	開催場所 及び コース概要	○開催場所 すぱーくながわ（スタート及びフィニッシュ） ○コース概要 ●町内小学校の部 及び 町内クラブ・地域対抗の部 全5区間、約11km ※1周2.2kmの周回コース ※女子指定区間は第1区及び第2区 ●三戸郡下中学校の部 全5区間、約14km ※1周2.8kmの周回コース	
	事 業 費	352千円（需用費等） 参加料1チーム1,000円、計40,000円 （山田町2チーム分を除く）	
	結 果	●町内小学校の部 優勝：名久井小Aチーム ●三戸郡下中学校の部 優勝：名川中Aチーム ●町内クラブ・地域対抗の部 優勝：三ヶ岳スポーツクラブチーム	
成果	陸上競技の普及と児童・生徒等の競技力の向上が図られ、また、団体競技の一体感を体験することにより、仲間意識の高揚が図られた。 なお、各学校の補欠選手がオープン参加にて出場することができる（補欠5名以下でも途中区間まで出場可能とした）大会要項とし、補欠選手も駅伝を体験できるよう配慮している。		
評価 と方 向性	小中学校等から毎年多くのチームが参加し、陸上競技を通じて切磋琢磨・交流の場となっている。また、以前より交流のある岩手県山田町より毎年駅伝チームを当町に招待しており、自治体間交流の重要なイベントとなっているため、今後も安全面などに配慮しながら、内容の充実を図っていく。		

第25回青森県民駅伝競走大会実行委員会補助金事業		事業の評価	◎																																																																												
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A																																																																												
概要	青森県民駅伝競走大会南部町実行委員会に対して補助金を交付し、町内中学生以上の候補選手を選考し、強化練習や試走等を実施する。																																																																														
実績	平成29年5月9日に南部町実行委員会を組織してから大会まで、約20回の練習会と2回の試走会を実施し、大会当日は、実行委員等計27名が選手をサポートした。 ○ 参加チーム数 40市町村 ○ 登録選手 15名（男11名・女4名） ○ 候補選手 40名（男30名・女10名） ○ 開催日 9月3日 ○ 開催場所 青森市内 ○ 事業費 1,220千円 (実行委員会への町の補助金) ※うち県補助金：60千円 ○ 成績 総合 第3位 (町の部 第1位) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>所 属</th><th>男 (名)</th><th>女 (名)</th><th>合計 (名)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>福 地 中 学 校</td><td>6</td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td>名 川 中 学 校</td><td>4</td><td>5</td><td>9</td></tr> <tr><td>南 部 中 学 校</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>青 森 山 田 高 校</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>八戸工業高等専門学校</td><td>3</td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>八戸学院光星高校</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>八 戸 西 高 校</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>名久井農業高校</td><td>3</td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td>亜 細 亜 大 学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>武蔵野学院大学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>駒 澤 大 学</td><td>2</td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td>駿 河 台 大 学</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>自衛隊体育学校</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>中 学 校 (講 師)</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>スクールサポーター</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>はらだクリニック</td><td></td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>愛 三 工 業</td><td>1</td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>30</td><td>10</td><td>40</td></tr> </tbody> </table>			所 属	男 (名)	女 (名)	合計 (名)	福 地 中 学 校	6		6	名 川 中 学 校	4	5	9	南 部 中 学 校	2	1	3	青 森 山 田 高 校	1	1	2	八戸工業高等専門学校	3		3	八戸学院光星高校	1		1	八 戸 西 高 校	1	1	2	名久井農業高校	3		3	亜 細 亜 大 学	1		1	武蔵野学院大学	1		1	駒 澤 大 学	2		2	駿 河 台 大 学	1		1	自衛隊体育学校	1		1	中 学 校 (講 師)	1	1	2	スクールサポーター	1		1	はらだクリニック		1	1	愛 三 工 業	1		1	合 計	30	10	40
所 属	男 (名)	女 (名)	合計 (名)																																																																												
福 地 中 学 校	6		6																																																																												
名 川 中 学 校	4	5	9																																																																												
南 部 中 学 校	2	1	3																																																																												
青 森 山 田 高 校	1	1	2																																																																												
八戸工業高等専門学校	3		3																																																																												
八戸学院光星高校	1		1																																																																												
八 戸 西 高 校	1	1	2																																																																												
名久井農業高校	3		3																																																																												
亜 細 亜 大 学	1		1																																																																												
武蔵野学院大学	1		1																																																																												
駒 澤 大 学	2		2																																																																												
駿 河 台 大 学	1		1																																																																												
自衛隊体育学校	1		1																																																																												
中 学 校 (講 師)	1	1	2																																																																												
スクールサポーター	1		1																																																																												
はらだクリニック		1	1																																																																												
愛 三 工 業	1		1																																																																												
合 計	30	10	40																																																																												
成果	陸上競技の普及と選手のレベルアップのほか、町民の一体感を盛り上げ、町勢の発展とスポーツの振興が図られた。																																																																														
評価と方向性	県内全市町村が参加し、中学生から一般までを対象とした歴史のある大会であるため、陸上競技の普及・振興につながっている。また、県民及び町民の関心は高く、今後の当町陸上競技の発展と、競技者の技術向上・士気高揚を図るため、今後も大会参加事業の充実を図っていく。																																																																														

岩手県山田町マリンスポーツ体験交流会		事業の評価◎																																		
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価A																																		
概要	町内小学生が一堂に会し、岩手県山田町の児童との交流を通じて人間形成と体力向上を図るとともに、心の豊かさを育てることを目的とする。岩手県山田町B＆G海洋センターの協力を得て、海洋性レクリエーション体験や水辺の安全学習などを実施している。																																			
実績	東日本大震災以降、休止状態となっていたが、山田町B＆G海洋センター艇庫復旧に伴い、平成28年度より交流事業を再開した。 ○開催日8月10日～11日（台風の影響により開催日を変更） ○開催場所岩手県山田町B＆G海洋センター艇庫・大島（オランダ島） 宿泊：岩手県山田町 嶋田鉱泉 ニュー嶋田荘 ○対象町内小学生4年生から6年生までの男女 ○参加者10名 ○事業費57千円（旅費・報償費） <table><tr><td rowspan="7">参加状況</td><td>学校名</td><td>学年</td><td>性別</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>名川南小学校</td><td>5</td><td>女</td><td>2</td></tr><tr><td>名久井小学校</td><td>4</td><td>女</td><td>4</td></tr><tr><td rowspan="2">南部小学校</td><td>5</td><td>女</td><td>1</td></tr><tr><td>4</td><td>男</td><td>1</td></tr><tr><td>向小学校</td><td>5</td><td>男</td><td>1</td></tr><tr><td>杉沢小学校</td><td>5</td><td>男</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="4">合 計</td><td>10名</td></tr></table>			参加状況	学校名	学年	性別	参加人数	名川南小学校	5	女	2	名久井小学校	4	女	4	南部小学校	5	女	1	4	男	1	向小学校	5	男	1	杉沢小学校	5	男	1	合 計				10名
参加状況	学校名	学年	性別		参加人数																															
	名川南小学校	5	女		2																															
	名久井小学校	4	女		4																															
	南部小学校	5	女		1																															
		4	男		1																															
	向小学校	5	男		1																															
	杉沢小学校	5	男	1																																
合 計				10名																																
成果	岩手県山田湾での海洋性レクリエーションや水辺の安全教室をとおして、児童は海の楽しさや危険な部分を肌で感じ、水難に対する自助意識を養うことができた。また、宿泊での団体行動や山田町の子どもたちとの交流により、団体での個人のあり方や仲間への思いやりのところを養う機会を提供できた。																																			
評価と方向性	海がない町に住む子供たちにとって貴重な経験であるため、今後も継続して心身を養う機会を提供していきたい。夏休み期間は、学校行事や部活等が多いためか参加者が少なく、できる限り児童が参加しやすい日程を確保し、チラシやポスターで情報を周知し参加者の増加を目指す。																																			

第33回うぐいすマラソン大会			事業の評価◎		
(4) 多様な生涯スポーツの振興			総合評価B		
概要	健康増進と参加者相互の親睦と融和を図るため開催。 男女各3km、5km、10kmのコースで体力に応じた種目別区分を設定。 町広報誌と町ホームページにて大会開催を周知。				
実績	○対象者健康で、所定の距離を完走できる者				
	○申込者数872名(平成28年度860名)				
	○参加者数720名(平成28年度695名)うち町民参加者数178名				
	○開催日4月23日				
	○開催場所ふくち運動公園多目的広場				
	○事業費509千円				
	○天候晴れ				
	○参加料無料				
	コース		申込者(名)	参加者(名)	うち町民(名)
	A	小学校3年生以下男子3km	65	62	33
	B	小学校3年生以下女子3km	35	31	15
	C	小学校4～6年生男子3km	80	70	36
	D	小学校4～6年生女子3km	63	59	32
	E	中学生男子3km	32	21	12
	F	中学生女子3km	13	7	1
	G	高校・一般男子3km	42	29	5
H	高校・一般女子3km	26	21	1	
I	高校・一般男子5km	96	78	5	
J	高校・一般女子5km	25	22	2	
K	高校・一般男子10km	259	220	7	
L	高校・一般女子10km	43	34	0	
M	誰でも参加(計測なし)3km	93	66	29	
	計	872	720	178	
成果	三八地域のみならず県内の市町村から多くの参加があり、当町のPRになるとともに、町民と他市町村選手の交流、陸上競技振興の一助となった。				
評価と方向性	町内外から多くのマラソンランナーが参加する社会体育事業唯一のマラソン大会であり、今後も安全面に配慮し内容を改善していきながら継続していく。 なお、企業2社(ユニバース、サントリーフーズ)からスポーツドリンクの協賛を得るなど、今後も大会運営に工夫を凝らしていきたいと考えている。				

より安全、安心のおいしい給食を目指す。		事業の評価	○
		総合評価	B
概要	学校給食衛生管理基準および大量調理マニュアルを遵守した調理を行う。		
実績	1 基準およびマニュアルの遵守、特に、調理前の手洗い・爪洗いおよび調理場に入る際の衣類への粘着クリーナー掛けを徹底して衛生面を重視した調理作業を行った。 2 平成24年10月より毎月1回、南部町産の野菜の放射性物質測定検査を継続し、安全が確認された食材を使用した給食を供給した。 3 給食センター見学を実施し、作業従事者の服装や作業の様子を見学させることにより、厳重な衛生管理の下に給食が供給されていることを周知した。		
成果	調理作業による異物混入を防止した給食の供給ができた。		
評価と方向性	安全な食材の使用および衛生面に重点をおいた作業工程の確立により、安心して喫食できる給食の供給を目指す。		

給食センター関係 No.5 3

栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかる。		事業の評価	○
		総合評価	B
概要	学校給食摂取基準に基づいた献立を作成し、子ども達の心身の成長に役立つ給食を供給する。		
実績	1 栄養バランスのとれた給食の供給と児童生徒へ栄養指導を行った。		
	給食センター見学への対応	町内小学校：4回	
	食育授業による栄養指導	町内小学校11校：30回	
	健康面談	実施なし	
	就学時児童への給食説明 及び試食会	町内小学校1校：1回	
	バイキング式給食	町内小中学校11校11回	
	調理従事者研修会・講習会	県内開催1回、郡内開催2回	
	栄養士の共同購入選定会議	郡内開催年6回	
	栄養士の研修会・講習会	県内開催年8回	
成果	栄養バランスの悪化が身体の不調、発育障害に繋がり、やがては、心身の元気がなくなり病気にもなりかねない。丈夫な心身をつくり毎日を元気に過ごすために、栄養バランスの良い食事を規則正しく摂り続けること、また、減塩に取り組み健康への重要性を認識させた。		
評価と方向性	年齢により栄養バランスの摂り方に違いがある。成長期にはバランスのとれた食事を摂り、運動等で体を動かすことが、心身を成長させるために重要であることを学ばせる。		

手作りの給食を心がける。		事業の評価	○
		総合評価	B
概要	使用食材の量により作業時間に余裕がある時には、食材を手切りして手作り感のある給食にする。		
実績	手切りにより、同じ食材でも大きさを変えることにより手作り感を出した。また、野菜を生の状態で調理できる「微酸性電解水生成装置」を活用し、生野菜を取り入れた給食の供給を行った。		
成果	野菜本来の形、色や味を出せるよう調理し、手作り感のある給食が供給できた。		
評価と方向性	手作り感のある家庭の食事に近い給食を供給するとともに、朝ごはんや夕ごはんを作っている保護者の方への感謝する気持ちをもたせることを学ばせる。		

伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にする。		事業の評価	○
		総合評価	B
概要	伝統食、郷土食材に、青森県の主要野菜である長芋、ごぼう、大根、人参などを取り入れた給食を供給する。		
実績	食育月間（6月・11月）には、季節にあわせた伝統食・郷土食材をとり入れた給食の供給をした。		
	伝統食	せんべい汁・たら汁・すき昆布煮・ひつつみ	
	町郷土食材	りんご	
成果	特産品や地元食材を使用した給食日には、給食の時間に放送で紹介してもらい、伝統食・郷土食の周知を図ることができた。		
評価と方向性	収穫期に関係なく食材を購入できる現代において、本来の収穫期に取れるべき季節感のある食材を使用した伝統食、郷土食を学校給食に取り入れていく。		

地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。		事業の評価	○
		総合評価	B
概要	地元の産物を活用した給食を供給することにより、地産地消の意義と地元産物の良さを周知拡大する。		
実績	1 毎月配布している「給食だより」に給食に使用する南部町産食材を掲載し、児童生徒および保護者への周知を図った。 2 給食で地元産食材を活用し、生産者の努力により健全な心身が保たれていることを学ばせた。 ・米穀は南部町(福地)産「つがるロマン」 100%使用 ・南部町産の食材の使用率 20.19% ・青森県産の食材使用率 51.63% ・国内産の食材使用率 24.64% ・その他(輸入品等)の食材使用率 3.54%		
成果	南部町産、青森県産および国内産の食材を使用した給食の供給ができた。		
評価と方向性	季節により野菜の値が高騰する時期がある。地元産物の安定供給に向けて地元農家の方々と話し合いの機会を持つようにして、町内産の野菜・果物の使用に向けて多くの協力が得られるようにする。		

教育委員会活動の状況

1 教育委員会委員構成

職 名	氏 名	任 期 期 間
教 育 長	高 橋 力 也	平成29年4月1日～平成31年3月31日
教育長職務代理者	境 久 孝	平成30年4月5日～平成34年4月4日 (平成30年4月5日～平成31年4月4日)
委 員	佐 藤 俊 男	平成30年4月5日～平成32年4月4日
委 員	西 舘 た か	平成27年3月16日～平成31年3月15日
委 員	山 田 和 彦	平成29年3月16日～平成33年3月15日

* 括弧は教育長職務代理者任期

2 教育委員会の活動概要

(1) 学校訪問

学校等の教育関連施設を訪問して教育現場の状況を把握する

小学校 4校、中学校 2校の学校訪問を実施

訪問月日	訪 問 校
平成29年9月20日	剣吉小学校、向小学校
平成29年10月18日	名川中学校、名川南小学校
平成29年11月15日	福地中学校、福田小学校

(2)会議・研修会

＊ 研修会等に参加し、委員としての幅広い見識(識見)を養う

開催月日	会 議・研 修 会 名	出 張 先	出席者数
5月26日	青森県市町村教育委員会連絡協議会研修会	青森市	5 人
7月13日～ 14日	三戸郡教育振興会教育委員研修会	秋田県由利本荘市	4 人
10月4日	三戸郡教育振興会教育委員秋季研修会	新郷村	3 人
1月31日	管内市町村教育委員会教育長・小中学校長会長・ 教育事務所合同会議	八戸市	1 人

(3)各種行事・大会等

＊ その他、下記の各種行事・大会に参加

開催月日	行事・大会名	開催月日	行事・大会名
4月7日	福地小学校入学式	10月7日	名久井小学校学習発表会
4月7日	福田小学校入学式	10月14日	福地小学校学習発表会
4月7日	杉沢小学校入学式	10月14日	福地中学校文化祭
4月7日	剣吉小学校入学式	10月14日	名川中学校文化祭
4月7日	名久井小学校入学式	10月15日	杉沢中学校文化祭
4月7日	名川南小学校入学式	10月15日	南部中学校文化祭
4月7日	向小学校入学式	10月21日	福田小学校学習発表会
4月7日	南部小学校入学式	10月21日	杉沢小学校学習発表会
4月7日	福地中学校入学式	10月21日	剣吉小学校学習発表会
4月7日	杉沢中学校入学式	10月21日	南部小学校学芸会
4月7日	名川中学校入学式	10月22日	名川南小学校学習発表会
4月7日	南部中学校入学式	10月22日	向小学校学習発表会
4月20日	南部町教育大会	12月1日	南部町中学生海外派遣事業報告会
4月23日	うぐいすマラソン大会	1月7日	南部町成人式
5月14日	福地中学校体育祭	2月3日	町文化賞・スポーツ賞授与式
5月14日	名川中学校体育祭	2月10日	南部地方えんぶり
5月14日	南部中学校体育祭	2月20日	三戸郡教育振興会定期総会
5月20日	杉沢小・中学校区合同運動会	3月11日	名川中学校卒業式
5月20日	福地小学校運動会	3月13日	福地中学校卒業式
5月20日	剣吉小学校運動会	3月13日	杉沢中学校卒業式
5月20日	向小学校運動会	3月13日	南部中学校卒業式
5月21日	福田小学校運動会	3月16日	福地小学校卒業式
5月21日	名久井小学校運動会	3月16日	福田小学校卒業式
5月21日	名川南小学校運動会	3月16日	名久井小学校卒業式
5月21日	南部小学校運動会	3月16日	名川南小学校卒業式
6月16日	町小学校陸上競技記録会	3月16日	南部小学校卒業式
6月17日	三戸郡中学校体育大会開会式	3月17日	向小学校卒業式
8月2日	町小学校水泳記録会	3月20日	杉沢小学校卒業式
9月24日	南部七唄・七踊り全国大会	3月20日	剣吉小学校卒業式

3 教育委員会会議

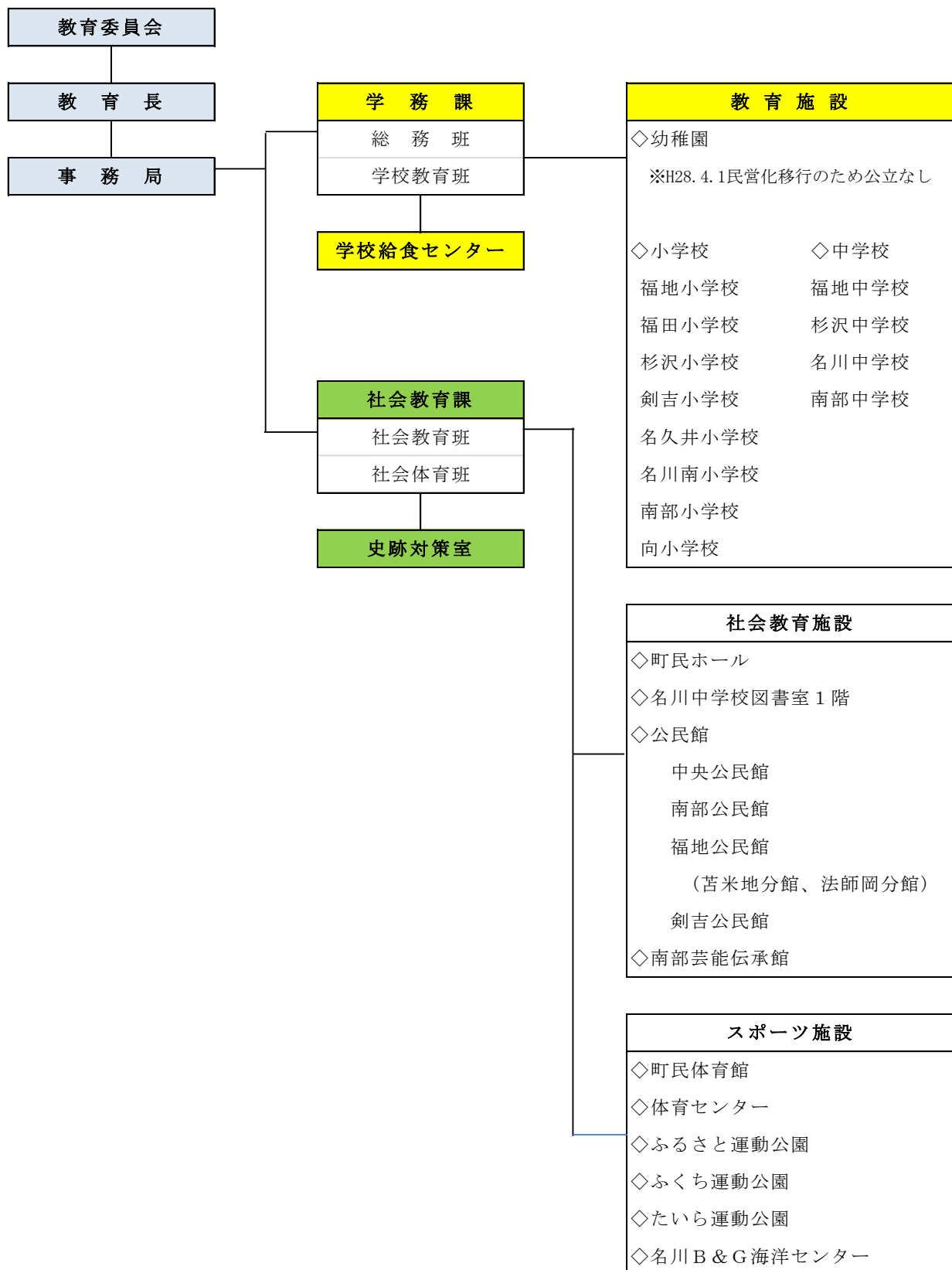
月 1 回開催の定例会

開催日	会議	議案番号等	案 件
H29 年 4 月 19 日	第 143 回	報告第 1 号 報告第 2 号 報告第 3 号 報告第 4 号 報告第 5 号 報告第 6 号 報告第 7 号 報告第 8 号 報告第 9 号 議案第 1 号	平成 29 年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 平成 29 年度通学区域外就学の承諾について 平成 28・29 年度区域外就学の承諾について 南部町教育委員会事務局職員の人事異動について 南部町スクールサポーターの委嘱について 南部町学校医・学校薬剤師の委嘱について 南部町教育委員会事務専決代決規程の一部を改正する訓令について 南部町立学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 南部町 B & G 海洋センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 南部町いじめ防止基本方針について
H29 年 5 月 16 日	第 144 回	報告第 10 号 報告第 11 号 報告第 12 号 報告第 13 号	平成 29 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について 平成 29 年度通学区域外就学の承諾について 南部町教育支援委員会委員の委嘱について 南部町教育委員会職員の人事異動について
H29 年 6 月 21 日	第 145 回	報告第 14 号 報告第 15 号 報告第 16 号 報告第 17 号 報告第 18 号 報告第 19 号 議案第 2 号 議案第 3 号	平成 29 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について 平成 29 年度通学区域外就学の承諾について 南部町奨学金の返還免除確定者について 南部町社会教育委員の委嘱について 平成 28 年度南部町教育関係繰越明許費計算書について 平成 29 年度南部町教育関係補正予算について 南部町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について 平成 29 年度南部町奨学金の貸付について
H29 年 7 月 19 日	第 146 回	報告第 20 号 報告第 21 号 報告第 22 号 報告第 23 号 報告第 24 号 報告第 25 号	平成 29 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について 平成 29 年度通学区域外就学の承諾について 平成 29 年度区域外就学の承諾について 特別支援教育就学奨励費支弁区分の認定について 学校評議員の委嘱について 南部町公民館運営審議会委員の委嘱について
H29 年 8 月 16 日	第 147 回	報告第 26 号 報告第 27 号 報告第 28 号	平成 29 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について 平成 29 年度通学区域外就学の承諾について 平成 29 年度区域外就学の承諾について
H29 年 9 月 20 日	第 148 回	報告第 29 号 報告第 30 号 報告第 31 号 報告第 32 号 報告第 33 号 報告第 34 号	平成 28 年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について 平成 28 年度南部町学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について 平成 29 年度南部町一般会計補正予算について 平成 29 年度要保護・準要保護児童生徒の認定解除について 平成 29 年度特別支援教育就学奨励費支弁区分の認定について 学校評議員の委嘱について
H29 年 10 月 18 日	第 149 回	報告第 35 号 議案第 4 号	平成 29 年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 南部町文化賞・スポーツ賞表彰審査会委員の委嘱について
H29 年 11 月 15 日	第 150 回	報告第 36 号 報告第 37 号 議案第 5 号	平成 29 年度通学区域外就学の承諾について 平成 29 年度区域外就学の承諾について 平成 29 年度南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書【H28 年度実績】について
H29 年 12 月 20 日	第 151 回	報告第 38 号 報告第 39 号 報告第 40 号 議案第 6 号 議案第 7 号	平成 30 年年度区域外就学の承諾について 平成 30 年度通学区域外就学の承諾について 平成 29 年度南部町教育関係補正予算について 南部町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部改正について 教育財産（土地）の取得の申し出について

開催日	会議	議案番号等	案 件
H30 年 1 月 17 日	第 152 回	報告第 41 号 議案第 8 号	平成 29 年度要保護・準要保護児童生徒の認定解除について 平成 29 年度南部町文化賞・南部町スポーツ賞被表彰者について
H30 年 2 月 21 日	第 153 回	報告第 42 号 報告第 43 号 報告第 44 号 議案第 9 号 議案第 10 号 議案第 11 号	平成 29 年度要保護・準要保護児童生徒の認定及び解除について 平成 30 年度区域外就学の承諾について 平成 30 年度通学区域外就学の承諾について 南部町幼稚園型一時預かり事業補助金交付要綱の一部改正について 南部町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について 南部町文化財の指定について
H30 年 3 月 20 日	第 154 回	報告第 45 号 報告第 46 号 報告第 47 号 報告第 48 号 報告第 49 号 報告第 50 号 報告第 51 号 議案第 12 号 議案第 13 号 議案第 14 号 議案第 15 号	平成 29 年度南部町教育関係補正予算（第 6 号）について 平成 29 年度南部町学校給食センター特別会計補正予算（第 1 号）について 平成 30 年度要保護・準要保護児童生徒の認定について 平成 30 年度区域外就学の承諾について 平成 30 年度通学区域外就学の承諾について 平成 30 年度南部町教育関係当初予算について 平成 30 年度南部町学校給食センター特別会計当初予算について 平成 30 年度南部町教育方針について 平成 30 年度南部町教育大会について 県費負担教職員の人事異動について 南部町教育委員会事務局の人事異動について

教育委員会事務局の組織の状況

1 教育委員会機構図



2 教育委員会事務分掌

● 学 務 課

【総 務 班】

教育委員会の会議に関すること。
教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他人事に関すること。
公印の保管に関すること。
文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。
教育予算の編成及び執行に関すること。
県費負担職員の任免その他人事に関すること。
学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
教育財産の管理に関すること。
教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること。
基幹統計及び教育に係る調査その他の統計に関すること。
県教育委員会その他の関係機関との連絡調整に関すること。
他の班の所掌に属しない事務に関すること。

【学校教育班】

校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
学校施設台帳の整備保管に関すること。
教育内容及びその取扱いに関すること。
教科用図書の採択並びに給与に関すること。
学習効果の評価に関すること。
校長及び教員その他教育関係職員の研修に関すること。
校長及び教員その他教育関係職員並びに児童、生徒の安全厚生及び福利に関すること。
学校給食に関すること。
児童及び生徒の就学に関すること。
学校保健に関すること。
学校図書館に関すること。
義務教育費国庫負担事務に関すること。
学校の産業教育、理科教育及びへき地教育の振興に関すること。
幼稚園に関すること。
児童及び生徒の交流に関すること。
奨学金に関すること。
その他学校教育に関すること。

●社会教育課

【社会教育班】

公民館その他社会教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
社会教育委員、公民館運営審議会及び文化財審議委員に関すること。
各種教室及び学級その他社会教育講座に関すること。
社会教育関係団体の指導育成に関すること。
社会教育資料の刊行及び配布並びに情報の交換、調査研究に関すること。
文化財の保護に関すること。
郷土芸能の伝承に関すること。
社会教育のために必要な設備、機材及び資料の提供に関すること。
ユネスコ活動に関すること。
コミュニティーに関すること。
ボランティアに関すること。
青少年教育に関すること。
青少年健全育成に関すること。
家庭教育に関すること。
婦人教育に関すること。
男女共同参画事業に関すること。
生涯学習推進事業に関すること。
文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。
その他社会教育に関すること。

【社会体育班】

体育・スポーツの振興に関すること。
スポーツ推進委員に関すること。
体育関係団体の指導育成に関すること。
体育施設の管理運営及び整備に関すること。
運動公園の管理運営及び整備に関すること。
町民運動会に関すること。
スポーツ教室及びスポーツ大会に関すること。
その他社会体育に関すること。

【史跡対策室】

南部氏関連城館整備検討委員会に関すること。
南部氏史跡整備検討委員会に関すること。
国指定史跡「聖寿寺館跡」保存管理に関すること。
南部氏史跡の公有化に関すること。

南部氏史跡発掘調査に関すること。
南部氏史跡整備基本構想策定に関すること。
南部氏史跡整備及び活用に関すること。
南部氏史跡の周知に関すること。
南部氏の文献調査及び研究に関すること。
南部氏史跡対策室の経理事務に関すること。

3 教育関係予算の状況(決算)

(単位:千円)

款	項	目	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
教育費	教育総務費	教育委員会費	949	862	1,049	828	944	800
		事務局費	193,774	151,533	160,065	146,402	211,748	186,941
		小計	194,723	152,395	161,114	147,230	212,692	187,741
	小学校費	学校管理費	79,726	97,366	82,497	250,356	270,371	92,609
		教育振興費	20,018	19,864	19,534	15,060	14,578	14,369
		小計	99,744	117,230	102,031	265,416	284,949	106,978
	中学校費	学校管理費	56,201	70,772	54,654	58,725	54,058	260,813
		教育振興費	18,851	17,710	18,496	12,929	14,329	13,039
		小計	75,052	88,482	73,150	71,654	68,387	273,852
	幼稚園費	幼稚園管理費	32,767	32,516	17,860	20,366	314	0
		教育振興費	5,051	5,647	6,515	41,780	71,157	81,029
		小計	37,818	38,163	24,375	62,146	71,471	81,029
	社会教育費	社会教育総務費	69,386	67,398	67,981	56,807	64,415	52,755
		公民館費	31,735	43,285	42,810	58,286	26,350	25,625
		社会教育施設費	11,758	12,601	12,481	12,659	12,781	21,461
		文化財保護費	16,990	32,660	47,933	28,379	119,689	76,512
		小計	129,869	155,944	171,205	156,131	223,235	176,353
	保健体育費	保健体育総務費	56,849	49,287	53,636	52,086	47,230	44,566
		保健体育施設費	76,631	51,925	39,842	66,653	48,883	52,836
		保健体育施設整備費	—	—	—	—	—	—
		小計	133,480	101,212	93,478	118,739	96,113	97,402
	給食センター費	給食センター費	104,574	94,609	141,737	95,062	96,097	96,501
		小計	104,574	94,609	141,737	95,062	96,097	96,501
	合計		755,163	775,260	748,035	767,090	1,052,944	1,019,856
対前年比			1.03	1.03	0.96	1.03	1.37	0.96

特色ある学校経営事業の経過概要

南部町立福地小学校
校長 油 布 一 之

活 動 名 称 (テ ー マ)	共に学び、かかわり合いながら、豊かな心と夢をはぐくむ 福地っ子プラン
現 状	本校は特色ある教育活動として、縦割り班による活動や人権教育、米作り・茶道教室など、地域や外部機関との連携による活動、青少年赤十字活動に伴う奉仕活動などを行い、教育目標である「笑顔いっぱい やる気いっぱい 元気いっぱい かがやく福地の子」を目指して取り組んでいる。多くの人と関わりながら、多様な体験を通じて豊かな心と夢を育てていきたい。
目 標	教育活動全体を通して児童を以下のとおり育てたいと考えている。 ・自分や他人を大切にし、仲良く助け合う子（徳） ・進んで学習し、学び合う子（知） ・運動に親しみ、心と体をきたえる子（体） 本事業では特に、徳育の面を育てていきたい。
実施年月日	実 施 内 容
4月～9月	1 特色ある教育活動 (1)「少年消防クラブ」活動の推進 ・春の防火パレード参加・消防クラブリーダー研修会(合宿)参加 ・南部町防火大会にて軽可搬ポンプ操法を披露
7月～2月	(2) 縦割り班による集会活動の充実 ・七夕集会 ・つなひき集会 ・節分集会
通年	(3)人権教育の推進 ・人権集会（児童による人権に係るお話の発表）・校長講話
2月10日	(4)地域の伝統芸能の鑑賞 ・えんぶり鑑賞会の実施（片岸えんぶり組）
通年	(5)青少年赤十字活動に伴う奉仕活動の推進 ・自主的清掃 ・草取り ・植物への水やり・クリーン作戦
7月11日	2 生活科と総合的な学習の時間「わくわくタイム」での体験活動 (1)「ふるさと学習」（6年）・聖寿寺館跡発掘体験・南部利康霊屋見学
4月～12月	(2)「米作り・販売体験」（5年）・田植え、稲刈り、脱穀、販売体験
5月上旬～9月	(3)「野菜作り名人になろう」（全学年）地域の方の指導と栽培体験
2月9日	(4)「シルバークラブとの交流」（1年）縄ないと昔の遊びの体験
5月～11月	(5)日本文化体験「茶道に親しもう」（全学年）茶道体験
2月13日	(6)「赤ちゃん抱っこ体験」（5年）・抱っこ、おむつ替え、授乳体験

特色ある学校経営事業の経過概要

南部町立福田小学校

校長 三 戸 盛 司

活 動 名 称 (テ ー マ)	特色ある学校経営事業 (主体的に学習に取り組む児童の育成)
現 状	本校の学校課題の一つに、「主体的に学習に取り組ませる指導」がある。本校児童は、学習意欲は決して低くはないものの、まだまだ向上できる可能性をもっている。そのため、児童に興味・関心を持たせる教材提示や意欲を持たせる場の設定など授業改善に取り組んでいるところである。
目 標	本校最重要課題の「主体的に学習に取り組ませるための指導」に向けて、児童に興味・関心を持たせる教材を工夫したり、ＩＣＴを活用したりするなどの授業改善をとおして、主体的な学びを促す指導を充実させる。
実施年月日	実 施 内 容
2月6日	①八幡馬づくり ・ 3学年総合的な学習の時間に八幡馬制作に取り組ませた。
2月5日	②えんぶり「えぼし」づくり ・ 4学年総合的な学習の時間にえんぶりの「えぼし」制作に取り組ませた。
4月～2月	③プロジェクター・プロジェクター台・マグネットシート・脚付両面ホワイトボード（ＩＣＴ活用） ・ 各教科において、授業改善や分かる授業の展開に活用した。 ・ 授業で活用する資料や実物、児童のノートをスクリーンに提示することで、児童の興味・関心を高めさせ、学習意欲の高揚を図ることができた。今後も全職員で活用の工夫に取り組んでいきたい。
4月～2月	④写真用紙 ・ 活動の様子を校内に掲示した。

特色ある学校経営事業の経過概要

南部町立杉沢小学校
校長 竹 田 裕

活 動 名 称 (テ ー マ)	豊かな心、たくましい心を育てる教育活動
現 状	・ 向上心をもって、意欲的に素直に取り組むことができる。 ・ 少人数であること、育った環境が似ていることから、体験の広がりが十分とは言えない。
目 標	・ 自分たちで主体的に活動に取り組み、成就感や満足感を味わせる。 ・ ボランティアや地域の方々とのふれ合いをとおして、コミュニケーション能力や自分自身を振り返る力を高める。
実施年月日	実 施 内 容
通年 4月～12月 5月～11月 12月1日 12月～2月	(1) 読書活動の推進 ① 朝読書と推薦図書の奨励…学年別推薦図書の奨励・図書祭り(12月11日～18日)の実施 ② 読み聞かせボランティア(なんぶ読み聞かせの会)による読み聞かせ活動…火曜日の朝 8:00～8:10 計12回実施 (2) 体験活動の推進 ① 学校農園での栽培活動の実施…全校児童が縦割り班毎にサツマイモ・ジャガイモ等を栽培した。 ② 収穫した作物を使つての収穫祭の実施…12月1日(土)収穫祭を開き、自分たちで調理した鍋と蒸しパンと一緒に食べた。 ③ 収穫祭での地域・保護者の方々とのふれあい…収穫祭の中で、ふれ合いタイムをもうけ、一緒に昔遊びを楽しんだ。 (3) 伝承活動の実施 ① 地域芸能(えんぶり)伝承活動の実施…地域の方に指導をいただきながら、全校児童が役割を担って、取り組み、発表した。(1/26 校内発表会、1/31 長老園, 2/4 福地地区芸能文化祭)

特色ある学校経営事業の経過概要

南部町立剣吉小学校
校長 坂 本 晴 美

活 動 名 称 (テ ー マ)	児童の学習効果を上げるための学習環境整備
現 状	児童の表現力の向上と、基礎・基本の定着、豊かな心の育成のために、体験活動の充実や指導方法の改善に取り組む必要がある。
目 標	・課題の解決に必要な知識及び技能を身につけさせる。 ・各教科等の特質に応じた体験を伴う学習活動の充実を図る。
実施年月日	実 施 内 容
5月～11月	1 体験と交流を取り入れた活動 ○長坂下環境保全隊の方々との農業体験学習（記録、田植え・収穫祭） ・チャレンジ学習田での活動 ○名久井農業高校生との交流（記録、リンゴの栽培・収穫） ・花いっぱい運動
通年	2 ICT等の活用をととして、指導方法の改善に努め、分かる授業を展開し、児童の興味・関心・学習意欲を高めさせ、学力の向上を図る活動 ○個に応じ、きめ細やかに学習内容の定着を図る活動（児童一人一人の学力の向上） ○児童の活動を記録し、発信する活動。
8・9月	3 その他 ○校内相撲大会 審判講習会 講師謝礼 ○よい歯の児童審査会児童輸送用タクシー代（往復）

特色ある学校経営事業の経過概要

南部町立名久井小学校
校長 池 田 真理子

活 動 名 称 (テ ー マ)	自ら学び、自ら考え、主体的・協同的に取り組む能力と態度の育成
現 状	1 自分が住んでいる「南部町」について詳しく知っていることが少なく、ふるさとへの愛着や誇りなどが十分とはいえない。 2 自分たちが使っているエネルギーはどのように作られ、使えなくなるとどうなるのかなどの認識はあまりない。
目 標	1 南部町の主力産業である農業についてふれさせ、実際に栽培する体験や、地域の素材を生かした郷土料理などを知ることによってふるさと南部町の良さを実感する。 2 エネルギー環境教育を通して環境に対する意識を高揚させ、環境保全の大切さを理解し、できることを実践する力を身につける。
実施年月日	実 施 内 容
5月～12月 7月～2月	1 ふるさと学習 ①農園活動：野菜を育てよう（学年ごとに畑で栽培） ②目指せ食キング(3年)郷土料理について知る ③如来堂川のなぞを探る(4年) ④相撲大会を成功させよう(全校) ⑤南部手踊りを発表しよう(手踊りクラブ)学習発表会 ⑥リンゴ栽培体験(5年)授粉、摘果、袋掛け、収穫 ⑦聖寿寺館跡発掘体験、名久井岳登山(6年)→雨天中止 ⑧花を育てよう(全校) 2 エネルギー環境教育 ①環境教育授業（ゴミを減らす、環境にやさしい買い物を考える、地球温暖化を理解し省エネを実践。） ②ものづくり体験（廃油からろうそくをつくる、など） ③エネルギーデー（手作りカイロづくり、など） ○ 年間を通じて、ICTを活用し、視聴覚的な情報を共有しながら、学習内容を深めたり、自分の考えを発表したりした。学習のまとめとして異学年や地域の方を呼んで発表会等を実施した。

特色ある学校経営事業の経過概要

南部町立名川南小学校
校長 秋 山 政 子

活 動 名 称 (テ ー マ)	地域の特性を生かした体験活動の推進
現 状	少子高齢化に伴い、地域との交流が学校行事を中心としてなされている。 特色ある学校経営をしようと自然を生かした体験学習を実施したり、経験豊富な地域人材の活用をしたりするためには、予算的な措置が伴わなければ活動内容が限定されてしまう。
目 標	地域の自然・文化を取り入れた学習を推進しながら、地域の人材を積極的に活用して、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育む。
実施年月日	実 施 内 容
5月下旬 10月 12月3日	【田植え】 ・ 鳥谷、鳥舌内両老人クラブの方々及び保護者の方々に指導・支援していただきながら、全校児童がもち米の苗を植える。 【薬まき】 ・ 除草剤をまく。 【稲の観察】 ・ 全校児童で、稲の成長を確認し、記録する。 【稲刈り・脱穀】 ・ 鳥谷、鳥舌内両老人クラブの方々、及び保護者の方々に指導・支援していただきながら、全校児童で収穫する。 ・ 天日干しした米を、児童が足踏み脱穀機などを使い、昔の道具の学習もしながら、脱穀作業を行う。 【もちつき・蕎麦打ち会】 ・ 地域の方々、来賓の方々を招待し、収穫祭を行う。今年は、約100名の方々が集い、楽しく交流が行われた。

特色ある学校経営事業の経過概要

南部町立向小学校

校長 芦 名 均

活 動 名 称 (テ ー マ)	一人一人が生き生きと輝く学校づくり
現 状	優しく素直な子どもたちが多い反面、自分を高めるために、目標を決め、そのためにどうするかを考え、失敗を恐れず、強い心でやりぬくところに課題があり、以下の３点を今年度の経営の重点とした。 ・ 基礎基本の定着と主体的に学ぶ力 ・ 規範意識の向上と思いやりの心 ・ 根気強く挑戦する心
目 標	・ 基礎的・基本的な知識、技能の習得と思考力・判断力・表現力の成果 ・ 地域社会との連携による郷土に誇りを持ち、地域を愛する心の育成 ・ 体験活動の充実による豊かな人間性や社会性の育成
実施年月日	実 施 内 容
通年 10月～ 6月～7月 7月1日 8月12日 5月～12月 5月～11月 5月～9月	- 知識、技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成 ・ 各教科・領域において学び合い活動や発表活動が充実するよう、小黒板やホワイトボード等を購入し、実践を深めた。 ・ リットルますを活用し、量感覚を豊かにすることで基礎基本の習得を図った。 - 郷土理解 ・ 地域の方を講師に迎え、全校児童がナニヤドヤラコンクールに向けて練習に取り組んだ。 ・ コンクール当日は、来賓、保護者、老人ホームの方々を招き盛大に踊りや唄、太鼓を披露するとともに、優勝を目指して精いっぱい踊ることができた。 ・ 南部まつりのパレードに参加し、ナニヤドヤラを披露した。 - 飼育栽培活動、体験活動の実践・充実 ・ 総合的な学習の時間「田んぼで稲を育てよう」 (農家の方に協力していただき、水田で稲作りを実施し、収穫したコメは、PTA主催フリーマーケットにて販売した。) ・ 生活科「野菜を育てよう」 ・ 社会科「米作りのさかなな庄内平野」バケツ稲づくり

特色ある学校経営事業の経過概要

南部町立南部小学校
校長 道 端 仁

活 動 名 称 (テ ー マ)	豊かな心をはぐくむ体験活動や環境づくりの活動
現 状	何事にも一生懸命で、与えられたことには熱心に取り組む子が多い。その一方で、少子化に伴い、友達同士や様々な人たちとの関わりが少なくなり、多様な人々と関わり合いながら学ぶことがより一層求められている。また、周りの環境を意識して生活することの大切さを学んでいくことが求められている。
目 標	・多くの自然、地域、人と関わる多様な活動を体験させ、豊かな心を育成する。1～6年生による縦割り班活動を充実させ、仲良く協力して活動する子、きれいな環境づくりに関心をもつ子を育成する。
実施年月日	実 施 内 容
5月26日 5月～12月 5月～11月 4月～12月 通年 5月～11月 5月～8月 9月～2月 5～11月 通年 通年	○自然体験・福祉体験・勤労生産体験等を取り入れた活動 (1) 自然体験活動の実施(縦割り班による野外炊事) (2) 農業体験活動の実施(教材園での栽培活動、食育学習、JAによる4年農業教室、JAによる5年バケツ稲体験、5年田植え・稲刈り・脱穀・もちつき収穫祭) (3) 総合的な学習の時間の充実(1・2年けり独楽体験、2・3年りんご学習・南部太ねぎ体験活動、4年如来堂川の水生生物調査・カヌー&着衣泳体験、5年種差海岸散策、6年聖寿寺跡発掘体験・奥州街道ウォーク) ○豊かな心やたくましい体を育てるための活動 (1) 「なんぶ読み聞かせの会」による活動(月1回) (2) 読書活動の推進(業間読書、本のイラストコンクールの実施) (3) 異学年交流活動の充実 ・第1回クリーン作戦・第2回クリーン作戦・縦割り班集会 (4) 「よさこいソーラン」と「よっちょれ」の伝承 ・運動会での披露・南部まつりでの披露 (5) 業間活動(マラソン・縄跳びによる体力づくり) ・校内マラソン記録会・校内縄跳び記録会 ○環境美化活動 (1) 花いっぱい運動(花壇整備、人権の花植え) (2) 学習環境の充実(メダカや金魚の飼育) ○キャリア教育の推進(キャリアノートの活用と保護者との連携)

特色ある学校経営事業の経過概要

南部町立福地中学校
校長 志 賀 清

活 動 名 称 (テ ー マ)	「自ら学び、心豊かな生徒」を育む活動推進事業
現 状	生徒は与えられた課題に一生懸命取り組んでおり、授業へも積極的に取り組んでいる。課題として、思考力・判断力・表現力の向上とよりよい人間関係の構築があげられる。生徒に学習の喜びや成就感を味わわせること、生徒が自分たちの課題を話し合う集団づくりの支援を行う。
目 標	地域の人材を活用し、地域の文化、自然環境にふれさせながら、教育目標である「自ら学び、自ら育つ生徒」「規律正しく、心豊かな生徒」の育成に努め、学習活動や学校行事、体験活動の中で成果をあげる。
実施年月日	実 施 内 容
5月～10月 9月5～6日 12～2月 5月 1日～14日 10月2日～15日 1月22日～31日 7月 5日 9月26日 2月23日	1 学習支援 ・学校農園野菜の栽培への支援 ・職場体験学習（2学年 職場訪問体験活動）への支援 ・総合的な学習の時間における作品制作の支援 2 行事支援 ・体育祭各軍応援旗やマスコットづくりなどへの活動支援 ・合唱コンクールや文化祭における発表への支援 ・立志式に伴う講演会、記念合唱、文集などへの支援 3 講演会、鑑賞会等の実施支援 ・「南部弁活用講座」 ・「いのちの大切さ」出前講座 ・「南部町の芸能にふれる鑑賞会」

特色ある学校経営事業の経過概要

南部町立杉沢中学校
校長 高 橋 直 浩

活 動 名 称 (テ ー マ)	杉中はぐくみプラン ～郷土を愛し、郷土のために何かができる自分を育てよう～
現 状	・落ち着いた雰囲気の中で、生徒は生活できている。 ・少人数の影響もあり、表現力にやや欠ける。 ・学区民は、学校の教育活動に対して理解を示し、協力的な人が多い。
目 標	・学校花壇の整備を通して、緑があふれる杉沢中学校の生徒であることに誇りをもって生活できる生徒を育成する。 ・音楽活動を通して、心豊かに生きる生徒の育成に努める。 ・図書室を整備し、生徒の積極的な図書室の活用に努める。 ・学校だよりを全戸に回覧させ、教育活動について学区民に伝える。
実施年月日	実 施 内 容
毎月月末	① カラー印刷による「杉中だより」を作成し、回覧板で学区全戸に回覧する。
入学式・卒業式 70周年記念式典	② 入学式、70周年記念式典、卒業式での全校歌唱でのギター伴奏と予行等での歌唱指導の実施。
不定期開催	③ 図書室環境の整備を保護者がボランティア活動として実施。
5月末	④ グラウンドのトラック部分とテニスコート、校舎周りの砂利への除草剤の散布。
6月上旬	⑤ 学校花壇への花苗の植え付けとその後の手入れ作業の実施。
6月22日	⑥ 「杉中桜を学ぶ会」で生徒、職員により肥料をまく。
12月16日	⑦ 音楽ミニコンサートの開催

特色ある学校経営事業の経過概要

南部町立名川中学校
校長 小林 孝 史

活 動 名 称 (テ ー マ)	耕 頭 ～地域と共に学ぶ～
現 状	本校は創立以来、地域の人材を生かして伝統芸能についての学習や保存・継承活動について力を入れてきた。その学習活動のよさについて改めて考え郷土を愛する心を育てる機会としたい。また、いじめや自殺が社会的な問題となっていることをふまえ、自他の命の大切さについて専門家や体験を通して考えさせる必要がある。
目 標	・ 郷土を愛し、郷土のよさを発信し自己の生き方について考える。 ・ 自他の生命について考えるとともに、生命を支えるものへの感謝の気持ちや持続可能な社会をつくる大切さについて体験を通して学ぶ。
実施年月日	実 施 内 容
11月24日 11月27日 5月～7月 5月～7月 7月～10月 10月15日 2月10日 2月17日	1 性に関する学習（報償費：講師謝礼） （１）性教育に関する講座 ①命の大切さ出前講座（１年） ②性教育講座（３年） 2 主体的な学習活動の推進（需用費：培養土等物品一式） （１）生物育成体験学習 ①果菜作物の栽培 ②観賞植物の栽培 3 郷土理解学習（備品購入費：えんぶり烏帽子２頭） （１）伝統芸能（えんぶり）の体験学習１、２学年 ①文化祭での発表 ②南部地方えんぶりでの発表 ③八戸えんぶりでの発表

特色ある学校経営事業の経過概要

南部町立南部中学校
校長 田 中 康 文

活 動 名 称 (テ ー マ)	南中愛～飛躍～
現 状	生活態度は落ち着いており、学習や行事に真剣に取り組む生徒が多い。また、生徒会テーマである南中愛の具現化を意識して生活している。一方で生徒数の減少により小集団化が進行しており、人との関わりの量的・質的な補償が困難な状況が生じている。そのため、学校の全教育活動を通じて計画的に社会性や道徳性を育成していく必要がある。
目 標	体育祭・文化祭・合唱コンクール・立志式等を中心に生徒の自主的な取組による行事を推進するとともに、JRC活動などで外部講師や関係機関と連携した豊かな体験活動を展開することによって、社会性や道徳性が身についた心身ともに健全でたくましい生徒を育成する。
実施年月日	実 施 内 容
9月8日 5月14日 10月 7日 10月15日 1月26日 10月下旬 4月～3月 11月中旬	1 学習支援 ・総合的な学習の時間（職場訪問）への支援 ・JRC活動（2学年幼稚園・保育園訪問）への支援 ・JRC活動（3学年老人ホーム、福祉施設訪問）への支援 2 行事支援 ・体育祭におけるマスコットの製作等に係る消耗品代への支援 ・合唱コンクール審査員謝金 ・文化祭ステージ発表等に係る制作材料代等 ・立志式における講演会、記念色紙、記念文集等への支援 ・次年度立志式を行う1学年を対象とした事前学習への支援 3. その他 ・英語弁論等文化的活動への支援 ・校内装飾環境、校内環境美化への支援 ・「いのちの大切さ」出前講座にともなう講演会等への支援 ・掲示物を作成するための印刷機インク・トナーの購入